

文部科学省 多様な学習を支援する高等学校の推進事業

「つなぐ」徳島プロジェクト ～「支援・相談」でつなぐ生徒の未来～

# 平成29年度研究成果報告

## 徳島県教育委員会

研究拠点校	徳島県立徳島中央高等学校
協力校	徳島県立徳島科学技術高等学校
協力校	徳島県立富岡東高等学校
協力校	徳島県立鳴門高等学校
協力校	徳島県立名西高等学校
協力校	徳島県立池田高等学校

# 研究成果報告書目次

○	巻頭言	
【1】	事業計画	
1)	研究指定期間3年間の調査研究のねらい	1
2)	研究指定期間3年間の調査研究の内容	2
3)	研究指定期間3年間の調査研究の目標	3
4)	平成29年度調査研究の具体的内容等	3
5)	平成29年度調査研究の効果測定について	5
【2】	平成29年度各学校における調査研究の概要	
1)	高等学校定時制通信制課程支援相談員（支援相談員）の活用	6
2)	特別な支援を必要とする生徒への支援	10
3)	就労支援	12
4)	ソーシャルスキル向上支援	23
5)	学力向上支援	54
【3】	平成29年度検討会議の概要	61
【4】	3年間の成果	68

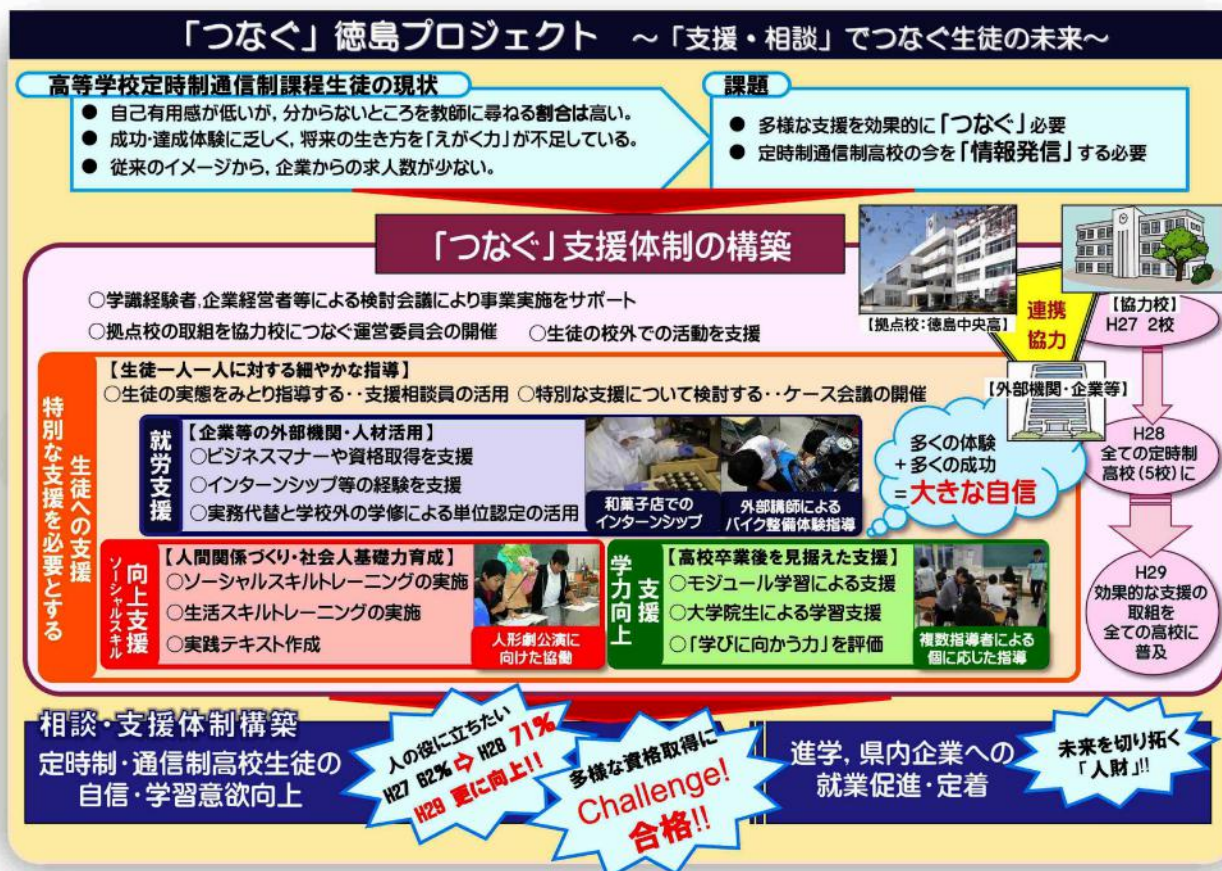
# 【1】事業計画

## 1) 研究指定期間3年間の調査研究のねらい

人口減少が急速に進む徳島県において、高等学校生徒数も同様の傾向がみられる中、定時制・通信制課程生徒に占める特別な支援等、何らかの支援を必要とする生徒の割合は増加している。また、本県独自の調査（毎年度7・8月実施）によれば、平成26年度は高校生全体と比較して定時制生徒の自己有用感の割合は約13ポイント低い。反面、授業で分からないところがあれば「教師に尋ねる」とする生徒の割合は、高校生全体と比較すると約10ポイント近く高く、学習意欲向上に対する教師の働きかけの有効性が強くうかがえる。

一方、本研究拠点校のうち定時制課程では、意欲的に学習に取り組む生徒の割合は60%程度であり、学校生活を生き生きと続けていくためにも、この割合を高める必要がある。

そのため、徳島県で唯一の定時制・通信制独立校である徳島中央高等学校を研究拠点校に据え、初年度（27年度）は近隣2校を研究連携校に指定、28年度以降は県内の定時制課程を有する他の全ての高校を研究協力校に指定し、生徒の実態に応じた実効力のある支援・相談体制の構築を図る。各学校の多様な生徒に対応できる学習支援・相談体制を構築することで、ケーススタディとして恒常化し、より生徒個々の状況に即した支援を図る。生徒の実情を踏まえた支援につながるテキストの作成、支援相談員を活用し、関係機関と連携した綿密な就労移行支援を実施し、それに伴う生徒の学習意欲向上、自己有用感の上昇を在学中・卒業後の就労等につなげ、地域を支える人材育成を調査研究の課題に設定する。



## 2) 研究指定期間3年間の調査研究の内容

徳島県内の定時制・通信制課程で学ぶ全ての高校生が自己有用感を持ち、社会における自己の役割を自覚し、職業人として活躍できる人材として成長するため、徳島中央高等学校を拠点校とし、他の5校を協力校とした支援・相談体制を確立する。

前提として、平成26年3月に策定された「徳島県キャリア教育推進方針」に則り、社会的・職業的自立に向け必要な基盤としての基礎的・汎用的能力の育成を図るための、入学時から卒業までを見通したキャリア教育全体計画や、平成27年度の拠点校での支援実績を踏まえ、それぞれの高校の独自性を生かしつつ、支援の汎用化の可能性についても検証する。

本事業では次の3項目を調査研究内容とする。

### (1) 「つなぐ」支援体制の構築

#### a 「多様な学習を支援する高等学校の推進事業」検討会議

キャリア教育専門家（鳴門教育大学大学院教授・講師）、関係機関の職員、企業経営者からなる委員と管理機関担当（定通教育担当、キャリア教育担当等）、研究指定校教職員等からなる検討会議を開催。委員の指導を受け、本事業の計画検討及び実施評価を行う。

#### b 「多様な学習を支援する高等学校の推進事業」運営委員会

研究拠点校と研究協力校との取組を「つなぎ」、抱える課題や外部機関との連携を含む効果的な支援の共有・深化を図る。

### (2) 特別な支援を必要とする生徒への支援

#### a 定時制課程・通信制課程支援相談員（以下、支援相談員という）の活用

研究拠点校に配置し、特に発達障がい等何らかの支援を必要とする生徒に対し、個別の指導計画作成のほか、支援相談員の指導・助言を受け、教職員とともに教科学習、総合的な学習の時間、特別活動、放課後支援等を総合的に組み合わせた社会への移行支援を推進する。近隣地域にある協力校2校に支援相談員を派遣し、3校が連携して支援相談体制の構築を行う。

#### b ケース会議の開催

事案に応じて県立特別支援学校の巡回相談員、就労移行支援事業所専門員等の参加による生徒の実態に即した支援方法の検討を実施する。

### (3) 就労支援・ソーシャルスキル向上支援・学力向上支援

27・28年度に、徳島中央高等学校三課程が取り組んだ就労支援、ソーシャルスキル向上支援、学力向上支援について、運営委員会等を通じ、情報共有を図る。その取組において得られた成果と課題を踏まえ、各研究協力校では、それぞれの生徒の実情に応じ、必要かつ重点を置く支援について28年度以降の取組を行う。引き続き徳島中央高等学校は取組の充実・深化を図るとともに、協力校との情報共有を図る。

### 3) 研究指定期間3年間の調査研究の目標

調査研究各項目の有効性有用性を整理，客観的に検証し，定時制通信制課程生徒の抱える共通の課題解決ための対応策として汎用化の可能性について検討する。数値化して評価することが適切でないソーシャルスキルトレーニング等ではパフォーマンス評価，ルーブリック評価等の手法を用いながら，各学校での支援・相談体制の充実・深化策の検証を行う。平成29年度（最終年度）の目標は次のとおり設定する。

就労支援・・・

事業場見学等参加者のうち，後の就労につながった割合（定時制・通信制課程全体）

目標 60% (H27 40%)

インターンシップ参加者（徳島中央）

目標 90% (H27 70%)

就職率（定時制・通信制課程全体）

目標 80% (H27 60%)

ソーシャルスキル向上支援・・・

夜間部カフェ参加割合（徳島中央）

目標 60% (H27 40%)

自己有用感あり（徳島中央）

目標 80%（中央） (H27 60%)

（定時制・通信制課程全体）

目標 全日制と同値 (H27 50%)

学力向上支援・・・

学習意欲（徳島中央）

目標 90% (H27 70%)

（定時制・通信制課程全体）

目標 全日制と同値 (H27 65%)

通信制課程コンテンツ教材活用率（NHK高校講座視聴を含む）

目標 20% (H27 10%)

### 4) 平成29年度調査研究の具体的内容等

(1) 「つなぐ」支援体制の構築

a 「多様な学習を支援する高等学校の推進事業」検討会議

委員の指導を受け，本事業の計画検討及び実施評価を行う。

第1回 今年度の体制・取組計画についての協議

第2回 平成29年度の取組報告と3年間の総括

b 「多様な学習を支援する高等学校の推進事業」運営委員会

調査研究拠点校として徳島中央，協力校として徳島科学技術，名西，富岡東，鳴門，池田の各高等学校定時制を位置づけ，徳島県内の全県立高校定時制通信制課程を対象として開催する。教頭等による運営委員会を設置。遠隔校を含むため，既存の定時制通信制課程の教頭による連絡会等を活用し，全校が連携して事業の円滑な運営を図る。

また，同じ課題を共有する学校間で教員向けの研修会を実施するなど，教員の指導力向上を図る。

(2) 特別な支援を必要とする生徒への支援

a 支援相談員の活用

引き続き拠点校では，特に発達障がい等何らかの支援を必要とする生徒に対し，個

別の指導計画作成のほか、支援相談員の指導・助言を受け、教職員とともに教科学習、総合的な学習の時間、特別活動、放課後支援等を総合的に組み合わせた社会への移行支援を推進する。近隣地域にある協力校（徳島科学技術、名西）に、支援相談員を派遣し、3校が連携して支援相談体制の構築を行う。

#### b ケース会議の開催

27・28年度に引き続き事案に応じて県立特別支援学校の巡回相談員、就労移行支援事業所専門員等の参加による生徒の実態に即した支援方法の検討を実施する。

### (3) 就労支援・ソーシャルスキル向上支援・学力向上支援

28年度の取組において得られた成果と課題を踏まえ、29年度も全研究協力校で、それぞれの生徒の実態に応じ、必要かつ重点を置く支援について実施する。引き続き徳島中央高校は取組の充実・深化を図るとともに、全協力校との情報共有を図る。

#### a 就労支援

徳島中央高校定時制課程夜間部では、27年度に学校設定教科「職業」を開設。生徒全員に対して就業体験を課し、インターンシップや就労を実務代替・学校外の学修の単位として認定する新たな制度を導入した。28年度の実務代替制度の活用はなかったが、29年度は3名が取組予定として就労先と交渉済である。夜間部カフェでの校内就業体験の取組は、27年度に比べて28年度は低調であったが、29年度取組の中核となる生徒の育成を図ることができた。また、28年度までに取り組んだ、生徒の職業観や、就業体験に向けた心構えなどを身に付けさせるためのテキストの普及を図るため、CD化して配布する予定である。検討会議でのインターンシップ、アルバイト就業等に先立つ、生徒の職業観の不足の指摘を受け、職業観の育成に向けた各校の取組について引き続き実施するとともに、生徒の変容についてアンケート調査を実施し、分析を行う。また、企業・県民等に対しても美術作品展優秀作品の展示等、生徒の取組や定時制・通信制課程等の広報に努める。

#### b ソーシャルスキル向上支援

徳島中央高校昼間部で取り組む「とくしま中央一座」「絵本の読み聞かせ」実践の活用について検討会議での意見を踏まえ、29年度も、多様な活躍の場の提供及び活動実績の普及広報を兼ねた上演先の開拓及び実施（更なる人間関係形成・社会形成能力の育成）や演じることによるSST、生活スキルトレーニング（LST）の実践及びカリキュラム化に向けて充実・深化・拡大を予定している。なお、夜間部カフェのソーシャルスキル向上支援としての有効性は、(2)の支援との相乗効果が引き続き期待できる。

また、各協力校も拠点校の取組と各校生徒の実態を踏まえ、効果的な支援を行う。

#### c 学力向上支援

徳島中央高校では大学院生等による「放課後支援」・モジュール学習等を実施する。特に通信制課程ではweb学習可能な教材コンテンツを作成し、HPに掲載している。出張スクーリングや学習相談日を実施する等、引き続き充実させ、学習を支援する。ソーシャルスキル向上支援とともに高校卒業を見据えた就労支援を支える支援として充実を図る。

また、各協力校も拠点校の取組と各校生徒の実態を踏まえ、効果的な支援を行う。

## 5) 平成29年度調査研究の効果測定について

相談体制の実績として、件数は28年度は増加しており、各生徒に対する有効性ある効果について、29年度も引き続き把握を行う。特にソーシャルスキル向上支援については「とくしま中央一座」の取組に対して、検討会議委員である鳴門教育大学大学院小坂浩嗣教授の協力のもと、「思いやる心の育成」を目的として「シェアリング法」による実践とワークシートの記述と授業での関与観察の記録から生徒の変容を読み取る定質分析と、自尊感情を指標に3観点（自己評価・自己主張・関係の中の自己）を測定分析する定量分析を28年度に引き続き29年度も実施する予定である。

就労支援については、職場見学・ガイダンス等、職業を「知る」取組への積極的な参加を促すとともに、引き続きインターンシップ参加者数、在学中の有職者数、卒業時の就職率等を把握し、その推移により効果の分析を行う。学力向上支援では、これまでの見取りの成果を分析し、定時制通信制課程に汎用化可能な各教科等における行動による評価（パフォーマンス評価、ルーブリック評価等）可能な場面における評価規準例を作成し、生徒の学習意欲の伸長を把握し、その推移により効果の分析を行う。

自己有用感については、就労支援・ソーシャルスキル向上支援・学力向上支援の複合的効果が考えられるため、各支援を受けた生徒の自己評価に加え、本県独自調査「生徒の意識等に関わる調査」（毎年7～8月実施 2月結果公表）結果を引用する。28年度結果では、依然として全日制課程より低い状況にあるが、追跡の比較（前1年と現2年）では、「自分には良いところがある」が全日制課程が6ポイント上昇したのに対して、定時制課程は3ポイント減少している。「人の役に立ちたい」では全日制課程10ポイント、定時制課程9ポイントと同程度上昇している。経年の比較（1年・2年）では、特に定時制課程2年での「人の役に立ちたい」が20ポイント上昇と大きく伸びている点が評価でき、27年度から取り組んでいる本事業での支援の効果がうかがえ、引き続き今後分析・検証を行う。

## 【2】本年度の取組

### 1) 高等学校定時制通信制課程支援相談員（支援相談員）の活用

#### ① 徳島中央高等学校（拠点校）

- 1 支援相談員の勤務時間 水曜日 14:00～21:45（7時間）  
木曜日 13:00～20:45（7時間）  
日曜日（通信制のスクーリングにあわせて）

2 支援活動実績（1月末現在）

相談回数	支援回数	授業参加	会議出席
88回	78回	34回	8回

3 具体的な支援内容

- 相談 生徒の就業相談・生徒の進路相談（保護者面談含む）  
教員の生徒に対する指導の相談  
教員の生徒に対する特別支援に関する相談（保護者面談含む）
- 支援 キャリア支援（職業適性検査やエゴグラム等で自己理解を促しながら）  
履歴書の書き方指導，各種志願書等の書き方指導  
面接練習（進学・就職・アルバイト）
- 授業 総合学習の時間「ソーシャルスキルアップコース」（昼間部）  
マルチ基礎TT，職業基礎Aの時間（夜間部）
- 会議 個別のケース会議  
学年会  
ソーシャルスキル向上ミーティング

4 これまでの効果

#### 【定時制課程夜間部】

授業にTTとして参加してもらったり，夜間部カフェで生徒と交流したりすることで，生徒との信頼関係を高め，生徒が気軽に就業や進路に関する相談をすることができた。また，授業に参加してもらうことで，生徒の学力や性格を把握してもらい，個人の特性に応じた指導を推進することができた。

また，アルバイトを希望する生徒には，サポートステーションと連携して，就業支援を行っていただいた。その後も継続して，サポートステーションと連絡を取り，生徒の就労や職業訓練の状況を把握していただいた。

#### 【定時制課程昼間部】

生徒や保護者と就職や進学について進路相談をする中で，教員の指導と協働で支援の情報を共有し，生徒への理解を深めよりよい指導に活かすことができた。進路に関する指導では生徒自身の自己理解を促し，主体的に進路選択や進路決定を行う



ことができるようになった。就職や進学等の面接練習や試験準備を通して、生徒の自主性や対人スキルの獲得を促し、生徒の自己肯定感を高めながら卒業後もよりよい自己実現を目指す手がかりとしたい。また生徒が抱える発達障がい等の問題についても、生徒の特性理解や適切な支援に繋げる意見交換等、教員と繰り返し協議しながら一人一人の成長を促す活動に取り組んだ。

#### 5 今後の方向性について

三課程を通して自己肯定感の低い生徒が多く、まだまだ自信を持って諸活動に取り組めていない。また発達障がい等を抱える生徒の入学も増えているため、多様な支援を要する生徒一人一人の支援内容も様々である。個別の支援についてケース会議や指導計画の作成などに取り組んでいく。また生徒の就業指導については個別の指導を継続すると共に、外部機関とも連携し有効な支援方法についても検討していく。

## ② 徳島科学技術高等学校定時制課程（協力校）

1 支援相談員の勤務時間 火曜日 18:00～21:00（3時間）

2 支援活動実績（1月末現在）

相談回数	支援回数	授業参加	会議出席
29回	31回	2回	0回

3 具体的な支援内容

- 相談 特別支援に関する教員へのアドバイス  
保護者対応に関する教員へのアドバイス  
生徒への就業アドバイス
- 支援 履歴書の書き方指導  
就職試験の面接練習  
進路について生徒からの悩み相談  
ハローワークへの同行  
就職試験の面接練習
- 授業 人間関係の悩みについて生徒へのカウンセリング  
授業・実習について生徒からの悩み相談
- 会議 3年次と4年次のホームルーム活動（就職活動について）

4 これまでの効果

3年間の継続のため、生徒との信頼関係が構築されている。教師とは違った目線で、生徒からの悩み相談を継続的に受けてくれており、進路決定に対しても相談で

きている。今年度は、就業に関する話や就職適性を見つけるための面談もしていただき、就業に向けての自己理解や自己決定へと導くことができた。また、担任との情報交換により担任のより深い生徒理解に繋がり、生徒の言動に敏感に反応して対処することができている。生徒が抱える問題に関して、気軽に相談できることから担任の心理的負担軽減にも繋がっている。

## 5 今後の課題

3年間の事業の間に、支援相談員と生徒との信頼関係が構築され、生徒も徐々に心を開くようになってきた。そのような中、事業終了により相談員の先生との関係が切れてしまうことは、生徒にとっては大きな心理的損失である。また、担任や保護者にとっても、悩み対応や専門機関等との連携に尽力してくれていたため心強い面があった。支援相談員が対応してくれていた具体的な個別の支援を、今後は教員が担っていく必要がある。

### ③ 名西高等学校定時制課程（協力校）

1 支援相談員の勤務時間 月曜日 18:10～21:10（3時間）

2 支援活動実績（1月末現在）

相談回数	支援回数	授業参加	会議出席
7回	17回	16回	0回

3 具体的な支援内容

- 相談 生徒の就業及び進路相談  
教員の生徒に対する就業及び進路指導の相談
- 支援 願書・履歴書等の書き方指導  
面接指導  
医療系専門学校入学試験のための補習
- 授業 数学の授業等で理解の遅い生徒の指導で参加  
ホームルーム活動時にキャリア教育に関する講義
- 会議 なし

4 これまでの効果

1学期に4年生全員と個別面談を実施し、特に就職に前向きな生徒や医療系専門学校に進学を希望する生徒を中心に担任と連携して指導・助言を行ってきた。当初は前向きであった生徒も、途中で自信を失ったり、諦めかけたりしたが、粘り強く指導や激励を続け、1名が就職内定し、1名は就職の方向性が定まり活動中である。また、医療系専門学校を希望する生徒は受験に向けて学力の向上に取り組んでいる。

個別補習指導や理解の遅い生徒の指導については、わからないところを的確にアドバイスしてくれるので、生徒にとって心強い存在である。

#### 5 今後の方向性について

4年生の進路が全員決定するように、担任と連携を取りながら個別に指導を継続する予定である。今年度は、1～3年生に対してもホームルーム活動等を利用して、学年に応じた進路意識向上のための取組を実施する予定である。

## 2) 特別な支援を必要とする生徒への支援

### ① 富岡東高等学校定時制課程

#### ○図書購入について

##### 1 目的・ねらい

本校には、自閉症や気分障がい、ADHD等の様々な発達障がいを抱えた生徒が在籍している。また、小・中学校時代から喫煙をし、自己の健康について関心が低い生徒も見られる。その支援に向けて、個別の保健指導及び生徒理解の資料として活用できる図書の購入を計画した。

##### 2 内容

次の健康保健に関する2冊の図書を購入した。

- 『精神科医と養護教諭がホンネで語る思春期の精神疾患』（少年写真新聞社）
- 『タバコは全身病完全版』（少年写真新聞社）

##### 3 取組

教職員に対しては、生徒が診断書を提出した際の説明資料として使用した。生徒に対しては、個別の保健指導の際の補助資料として使用した。また、生徒が自ら喫煙について考える機会が持てるよう、生徒・職員の目につくところに図書を配置した。

##### 4 成果

ある生徒は、医療機関で疾患・障がいと言われ衝撃を受けているようであった。そこで、本書を参考に担任や養護助教諭、スクールカウンセラー等が連携し、カウンセリングや資料提供を行ったところ、生徒は納得し、生徒自身が自分の特性を理解できるようになった。

また、『タバコは全身病完全版』にはイラストや写真が多く掲載されており、「こんな汚い内臓になりたくない」「気持ち悪い」など生徒の率直な意見を聞くことができた。インターネットや雑誌等で電子タバコの有害性を調べるなど、自ら情報・知識を得ようとする生徒も見られるようになった。

##### 5 今後の課題

それぞれの生徒が奥の深い悩みを抱えており、一時的な対応で解決できるのではなく、今後も保護者や関係機関等と連携しながら継続的な支援をしていく必要がある。

また働きながら学習している生徒にとっては健康は最大の宝である。自ら健康について考えること、分かりやすい説明の仕方や資料を活用することで、健康づくりの雰囲気醸成していきたい。今後も生徒自身が自己の健康に留意するように指導していく必要がある。

### ② 徳島県立池田高等学校定時制課程

#### ○校内職員研修・講演会・教育的な学習環境づくり等について

##### 1 目的・ねらい

研修会や情報交換・共有を通して、教職員の教育的スキルや資質の向上を図り、特別な支援を必要とする生徒に対する理解ときめ細やかな支援・指導の充実に繋げる。

## 2 内容

発達障がいに関する基礎知識，授業のユニバーサルデザイン化，不登校への対応や予防のための知識・技能等，特別な支援を必要とする生徒への支援・指導について学ぶ。

## 3 取組

- ◇特別な支援を必要とする生徒への合理的配慮に関する校内職員研修会
- ◇不登校・ひきこもりの現状と対応方法に関する教育相談職員研修会
- ◇授業に集中しやすい教室や見て理解しやすい掲示等の教育的な学習環境づくり
- ◇生徒が心の不調を感じた時に，自ら対処する具体的な方法に関する講演会



職員研修「合理的配慮」



「ひきこもりの現状」



講演会「ストレスとの上手なつきあい方」



## 4 成果

日常的に生徒を観察して教職員間で情報共有を図るとともに，職員研修会においても，臨床心理士や養護助教諭から，不登校やひきこもりの生徒の現状，合理的配慮について学び，時宜に適した生徒の生活や学習状況に関する三者面談を実施できた。この2年間で，教育相談や生徒生活指導に対する生徒や保護者の肯定的評価が上昇した。

### ※学校評価アンケート結果

④とてもそう思う ③そう思う ②あまり思わない ①全く思わない ④+③⇒肯定的評価

質 問	肯定的評価%→	H29	H28	H27	H26	H25
【生徒】池田定時の先生はあなたの悩みや相談について，よく相談にのってくれますか。	100	94	83	96	81	
【生徒】あなたは池田高校に入学してよかったと思いますか。	95	94	83	96	89	
【保護者】教員は，三者面談で保護者の意見や相談を聴いてくれた。	100	100	87	100	90	
【保護者】教員は，子どもをよく理解し，子どもについての相談に適切に応じている。	100	100	86	95	100	

## 5 今後の課題

中学校や関係機関とも連携し，入学前から生徒の実態把握に努め，学習面・行動面・対人関係等に悩みを持つ生徒に対し，多方面から指導・支援を行う必要がある。教育相談では，生徒・保護者に耳を傾け，教育的ニーズを把握しながら，親身になって心に寄り添うことが重要であり，職員は研鑽を積み，資質・能力の向上にも努める。

### 3) 就労支援

#### ① 徳島中央高等学校定時制課程夜間部

##### ○ 「職業基礎A」から「職業基礎B」への発展的な学習

#### 1 目的・ねらい

職業に従事することを目標とし、各職種に必要とされる基礎的、基本的な知識と技術について理解させ、正しい勤労観、職業観を育成する。また、すでに就業している生徒も、他職種の体験を通して、より深い自己理解や将来設計について考えさせる。されらに、企業と学校との連携を強化し、生徒の就業の実現を図る。

#### 2 内容

「職業基礎B」は、「職業基礎A」で学習した内容の定着を図るため、実践的な学習を中心とする。実習的な学習や、プレゼンテーション、外部講師を招いての全体学習、就業体験を通して、職場に必要なスキルやマナーを身に付けさせる。また、「職業基礎B」の実践から「職業基礎A」の内容を見直し、修正を加える。

#### 3 取組

##### ① 就業体験に関する内容

企業研究・企業訪問の心得・勤務中の態度・就業体験・お礼状作成・体験発表

##### ② 職場で求められるスキルに関する内容

電卓実習・ビジネス文書作成の基礎（ワード・エクセル・パワーポイント）

##### ③ 就職活動に関する内容

進路ノートの活用（自己分析・高校生活の振り返り・履歴書作成・面接練習）

##### ④ 外部講師招聘

ビジネスマナーの基礎（会社訪問・電話対応） 株式会社テレコメディア  
着こなしマナー講座 洋服の青山

#### 4 成果

「職業基礎A」で学習した内容を実践する場面がたくさんあり、既習内容の定着を図ることができた。就業体験では、5名中3名の生徒が、体験先から「卒業後に働きに来ないか」という誘いを受けている。また、残り2名も、勤務態度に関して高い評価を受けることができた。また、就業体験に参加したことによって、全員の生徒が自分の進路目標を定め、その実現に向けて努力する姿勢を見せ始めている。

#### 5 今後の課題

本校と企業との連携がまだまだ十分とは言えない。本年度は「職業基礎B」の選択者が5名と少人数であったため、一人ひとりに合った就業体験先の選択や丁寧な実習指導を行うことができた。今後、人数が増えてきた場合、全教員で企業開拓や企業訪問を行うなど、学校全体の協力体制が必要となってくる。

## ② 徳島科学技術高等学校定時制課程

### ○資格取得対策のための参考図書を活用

#### 1 目的・ねらい

本校は本県唯一の定時制課程工業科であり，ものづくりの基礎を学ぶ専門高校であるが，学習への目的意識が希薄である生徒も少なくない。そこで，各種資格・検定試験の参考図書を購入し，これを用いて指導することで学習意欲を喚起させる。

#### 2 内容・取組

次の資格・検定に関する14冊の図書を購入し，活用した。

乙種危険物取扱者（2種類），情報技術検定，日本語ワープロ検定（2種類）

情報処理技能試験表計算（2種類），第2種電気工事士（3種類）

2級建築施工管理技士，計算技術検定（2種類），基礎製図検定

#### 3 成果

基礎製図検定に10名，計算技術検定に33名，各種危険物取扱者に25名が合格できた。

#### 4 今後の課題

受験者数がさらに増加するよう，生徒への補習出席の呼びかけを積極的に行う。

### ○職場見学会等の実施

#### 1 目的・ねらい

ものづくりに関係した職場見学をすることで，将来の職業についての展望を抱かせる。また，就職希望者に対して，面談等を通して本人の希望や職業の適性を考慮した上で，企業の求人開拓を行う。その後，求人可能となった企業に職場見学会開催を依頼する。生徒が，会社の雰囲気や仕事内容を十分理解できた上で受験意思を固めることで，就労に向けた意欲向上と離職率の低下を図る。

#### 2 内容・取組

(1) A鉄工（株）の職場見学会を，本校の機械工作部員と見学希望生徒の合計9名で実施した。同社は「科学技術長官賞」・「第一回ものづくり日本大賞」・「財団法人発明協会発明奨励賞」等を受賞すると共に，「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社」にも選定されている地元企業である。工場内の様々な製造工程を見学させていただいたことで，働くということを肌で実感でき，勤労意欲を増すことができた。

- (2) 機械コース3年次生の1名が、機械製造業の(有)B工業に就職を希望した。平成29年8月21日に職場見学会を実施していただき、面接を受けた。しかし、採用していただくまでには至らなかった。その後、機械製造業の(有)C工業(従業員数8名)に就職を希望した。平成29年9月4日に職場見学会を実施していただき、社長面接の結果、まずはアルバイトから就労できることとなった。そして、平成30年1月に正社員としての採用内定通知を受け取ることができた。
- (3) 機械コース4年次生の1名が、建設業のD建設(株)(従業員数50名)に就職を希望した。平成29年10月6日に職場見学会を実施していただき、代表取締役から面接を受けた。そして、平成29年12月に正社員としての採用内定通知を受け取ることができた。
- (4) 機械コース4年次生の1名が、機械製造業の(株)Eに就職を希望した。平成29年12月15日に職場見学会を実施していただき、実際に機械が稼働している場所を見学した。しかし、生徒がイメージしていた職場とギャップがあったようで、受験するまでには至らなかった。
- (5) 機械コース4年次生の1名が、不動産業の(株)Fに就職を希望した。平成29年12月20日に職場見学会を実施していただき、現在、受験先の候補として考えているところである。

### 3 成果

職場見学会を実施することができ、卒業後の進路選択に役立った。また、今まで卒業生が就職していない(有)C工業及びD建設(株)から採用していただいた。

### 4 今後の課題

今回、生徒が入社する2社について、入社後も引き続いて企業訪問等によって連絡を取り、卒業生の入社後の相談も行っていく。そして、会社と学校でさらなる良い関係を構築し、引き続き求人を獲得できるよう体制を整える必要がある。

## ③ 鳴門高等学校定時制課程

### ○バイク整備実技講習について

#### 1 目的・ねらい

- ・企業からの評価につながる資格の取得支援のための講習会等を8回開催する。
- ・総合的な学習の時間で「バイク整備実技講習」を実施し、自動車整備に興味がある者、または、整備士を目指す者の技術向上に寄与する。

#### 2 内容

原動機付き自転車を始め、自動車まで様々な通学手段が認められている本校定時制課程では、教員が通学時におけるマナーを教え、車両点検の際に安全点検を実施



し、指導している。しかし、点検後の整備や必要な部品交換などの面で不安が残っていた。

そこで、実際に生徒自ら整備や部品交換、点検する機会を得ることで、安全に乗車するためのノウハウを身に付けると同時に、工業製品に対する親しみと「技」の習得を主要な目的とした。総合的な学習の時間の中で講師を招き、的確な指導を仰ぐこととした。

### 3 取組

「ものづくり」の基盤技術、勤勉性、協調性などを身に付けるために、総合的な学習の時間の中で、生徒たちにとって身近な工業製品であるオートバイに触れる機会を得る。一昨年度購入した中古の原動機付き自転車と整備に必要な工具や用品を使用し、整備技術を高める。定期的に講師としてバイク屋さんを招き、プロの目から見た指導や助言をしてもらうことで安全面に配慮する。プロの「技」を実際に見て、学び、実践させ、自分たちが成し遂げたことに対して達成感を持たせる。

### 4 成果

自分が乗車している乗り物を整備する場合に注意すべき点とふさわしい工具選択について、プロから直接指導してもらった。また、キャブレターの分解を始めとした素人ではなかなか経験できない作業も実施することができた。自分の乗り物は自分で点検し、チェーンの調整やオイル交換、トラブルシューティングなど積極的に安全の確保に努めることができた。

### 5 今後の課題

習得した知識や技術を生かし、これまで以上に実際に通学に使用している原動機付き自転車やオートバイなどの点検・整備を充実させていく必要がある。

平成29年度 総合的な学習の時間 外部講師 来校表

**バイク整備実技講習…講師 スポーツショップ戸田 戸田 啓介 さん**

平成29年

5月25日(木) (ふさわしい工具選択, 長期保管からのエンジン始動)

6月 8日(木) (キャブレターの脱着, 清掃)

6月22日(木) (チェーンの張り調整, トルクレンチの使い方, 空気圧調整)

7月 6日(木) (フロントタイヤとチューブの交換)

9月21日(木) (チェーンの脱着, リアタイヤとチューブの交換,  
ドラムブレーキの清掃, ブレーキシューの脱着)

10月 5日(木) (エンジンオイル交換)

11月30日(木) (オイル漏れトラブルシューティング)

平成30年

1月18日(木) (プーリーとベルトの点検)



## ○ものづくり実技講習について

### 1 目的・ねらい

- ・企業からの評価につながる資格の取得支援のための講習会等を8回開催する。
- ・生徒の卒業後の進路にも直結している工場等での作業に支障を来さないよう、ある程度の手先の訓練や道具の使い方等の基礎知識を学ぶ機会を得る。一から物を作り上げる経験をすることと「技」の習得を主要な目的とした。

### 2 内容

ものづくりを通して目標を達成する力，創意工夫する力，チームワークを身に付けていくために，木工の基礎を学ぶ。実際に生徒が主体となり木工製品を製作していく中で，基本的な大工道具の使い方も身に付ける。総合的な学習の時間の中で講師を招き，安全に配慮しつつ的確な指導を仰ぐこととした。

### 3 取組

「ものづくり」の基礎（切削，組み立て，塗装）を身に付けるために，総合的な学習の時間の中で，生徒たちにとって身近であり，加工が容易な木材を使った製品

を製作する。初心者からでも十分に組み立てる内容のものを心がけ、耐震シェルターの模型製作に始まり、各教室に設置するオリジナルの傘立て製作に取り組む。講師として定期的に建築士の方を招き、プロの目から見た指導や助言をしてもらうことで安全面に配慮する。プロの「技」を実際に見て、学び、実践させ、自分たちが成し遂げたことに対して達成感を持たせる。

#### 4 成果

図面を確認しながら寸法取りをしたり、ノコギリやカナヅチ等の手工具を中心に使い、切削、組み立て、塗装まで各自で取り組んだ。実際に作業をすると、木材をノコギリでまっすぐ切断するのは思ったより難しく、集中して練習を繰り返す必要があることがわかった。建築業などのアルバイトを通して、道具の扱い方など経験豊富な生徒もおり、生徒同士で教え合う姿も見られた。また、教室には設置していなかった傘立てを自分たちで一から作り上げることができた。

#### 5 今後の課題

木工以外にも、興味のある分野や、作ってみたいものなど生徒の意見を聴取し、主体的・積極的に取り組める内容を模索する必要がある。

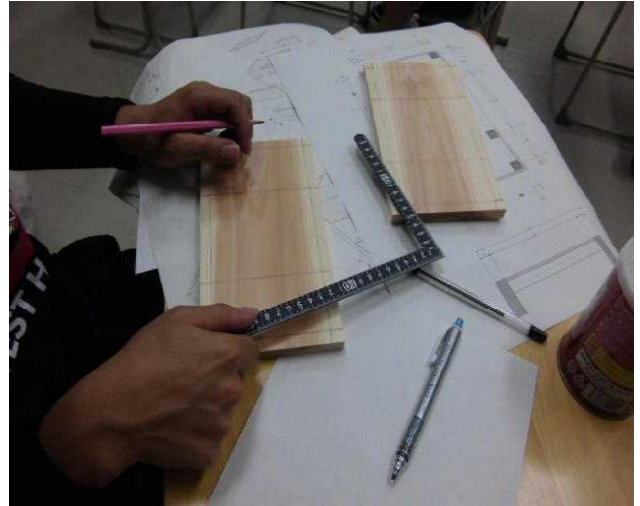
平成29年度 総合的な学習の時間 外部講師 来校表  
ものづくり実技講習…講師 後藤建築事務所 後藤 和典 さん

平成29年

- 5月25日(木) (耐震シェルターの模型製作 図面の確認)
- 6月 8日(木) (耐震シェルターの模型製作 組み立て)
- 6月22日(木) (耐震シェルターの模型製作 塗装)
- 7月 6日(木) (傘立ての製作 寸法取りと材料切断)
- 9月21日(木) (傘立ての製作 材料切断)
- 10月 5日(木) (傘立ての製作 材料切断, 組み立て, 塗装)
- 11月30日(木) (傘立ての製作 仕上げ①)

平成30年

- 1月18日(木) (傘立ての製作 仕上げ②)



## ○美容体験講習について

### 1 目的・ねらい

- ・企業からの評価につながる資格の取得支援のための講習会等を8回開催する。
- ・総合的な学習の時間で「美容体験講習」を実施し、ネイルケアやネイルアート等の美容体験をする機会を得ることで、興味や関心を持たせ、進路選択の幅を広げる。

### 2 内容

ネイルケアやネイルアートに関する様々な知識・技能を習得するとともに、美容に関する興味・関心を高める。実際にプロネイリストの方の技術を間近に見て学び、体験する。ネイルケアやネイルアートを施された爪は、常に自分の視界に入ることもあり、個性を主張することができるため、満足度は高いと考えられる。総合的な学習の時間の中で講師を招き、模範例を示していただくと同時に的確な指導を仰ぐこととした。

### 3 取組

ファッションや美容への興味関心が高い女子生徒が増えてきたこともあり「美容体験講習」において、ネイルケアやネイルアートを中心とした美容体験をすることとした。直接、プロネイリストの方から生徒に対して施術してもらい、その方法や手順を学ぶ機会を持ち、自身の身だしなみを見直すきっかけを作る。また、見学するだけでなく、実践することで技術を身に付けていく。講師不在の際は、担当教員が講師とメールで連絡を取り合いながら、専門的な知識（ネイルアートの歴史など）について学ばせる。プロの「技」を実際に見て、学び、実践させ、自分たちが成したことに対して達成感を持たせる。

### 4 成果

普段の身だしなみや、清潔感のある言葉遣いなど、心身から「美」について考えさせる機会を持つことができた。また、ネイルケアやネイルアートの実践において、「丁寧さ」や「集中力」を養うことができた。

### 5 今後の課題

生徒たちが社会に出たときに必要となる最低限の身だしなみやマナー、大人の女性としての「美」について、今後も指導していくことが重要であると考えた。

平成29年度 総合的な学習の時間 外部講師 来校表  
美容体験講習…講師 NAILS C-BLUE 近藤 芙美 さん

平成29年

- 5月18日（木）（オリエンテーション）
- 6月15日（木）（生徒へネイルケア実演）
- 6月29日（木）（生徒へ単色カラーのポリッシュ実演）
- 9月28日（木）（生徒へマーブルカラーのポリッシュ実演）
- 10月12日（木）（生徒へ単色ジェルネイル実演）
- 11月 2日（木）（生徒へジェルネイルを使って、爪の延長）
- 11月16日（木）（エメリーボードとウッドスティックを生徒に配布し、爪の長さや形を整える実習）

平成30年

- 1月11日（木）（マニキュアを塗る）



#### ④ 名西高等学校定時制課程

##### ○進路講演会の実施

##### 1 目的・ねらい

本校の生徒は、アルバイトなどに従事している生徒が約6割いるが、フルタイムで働いている生徒はおらず、どのような人材が企業に求められているのか、どのような能力が必要なのかなど就労についての認識が十分とは言えない。企業が求める人物像を具体的に聞くことで将来の仕事について明確なビジョンを持たせ、生徒の就労意欲も向上させる。

##### 2 内容・取組

日時 平成29年7月13日(木)

講師 社会福祉法人 石井福社会 さくら認定こども園 清重弘子園長先生

「学生(子ども)と社会人(おとな)の違い」、「働くって」、「しつけの基本」の3つのテーマで講演をしていただいた。「学生と社会人の違い」では目的や評価、社会的な責任や人間関係に関してその違いを、「働くって」では何のために、誰のために働くのか、また仕事の様々な形態について、「しつけの基本」では挨拶、返事、食事マナーの大切さを教えていただいた。

### 3 成果

学生時代の様々な経験が社会人になって役に立つという内容に、生徒たちはあらためて今が大切なのだと気づかされた。今回の講演会を通して社会人になるための資質と就労に対する意欲の向上につながった。

### 4 今後の課題

現在の自分の置かれた立場に対する認識が甘い生徒や、就労に対して意欲的でない生徒がおり、早い段階からの意識づけのためにも、講演会の実施は大切である。また、就労の意欲はあるものの、職場体験や就労体験を準備しても、その日が近づくにつれて体調を崩し受けられなくなった者もおり、精神的な強さや社会性を身に付けさせる指導の必要性を感じた。

## ⑤ 徳島県立池田高等学校定時制課程

### ○職業体験・職場見学・ビジネスマナー講座等について

#### 1 目的・ねらい

世間の動向や社会人・職業人として求められる資質・能力，労働者の権利等の理解を深め、実際の仕事や職場の雰囲気に触れることにより主体的な進路選択に繋げる。

#### 2 内容

事業所訪問による職業体験や職場見学，アドバイザーによるビジネスマナー指導等を通して，社会人・職業人に求められる知識や心構え，行動規範等について学ぶ。

#### 3 取組

◇仕事に対する価値観の構築や勤労意欲を高めるための職業体験・職場見学

◇社会人・職業人に必要とされる資質や能力を身に付けるためのビジネスマナー講座

◇ハローワークと連携した生徒の自己実現に向けた支援のための進路ガイダンス

◇ワークルールや労働トラブルへの対処法等について学ぶキャリア教育講演会



ビジネスマナー教室



キャリア教育講演会



企業見学（県立三好病院，トモニプラザ 等）



#### 4 成果

県立三好病院や徳島市内3つの事業所で職業体験や職場見学を実施し、就労への動機づけ、働く意義や働き方について意識させる機会を提供できた。講演会や進路ガイダンスを通して、進路実現に向けた取組方や考え方等についても学ぶことができた。生徒の就労率が84%となり、家庭で進路について話をする生徒も増えた。

#### ※学校評価アンケート結果

質 問	肯定的評価%→	H29	H28	H27	H26	H25
【生徒】校則や交通ルールなどのきまりをきちんと守っていますか。	84	83	88	92	85	
【生徒】今年度、アルバイトをしましたか。	84	72	62	50	50	
【生徒】キャリア教育を通して、進路決定や働くことへの意欲が高まりましたか。	74	78	75	92	63	
【保護者】学校は、子どもに社会のモラルやマナーを教え、社会規範意識の育成に努めている。	94	94	96	100	100	
【保護者】学校は、就労についての支援をしてくれている。	88	100	86	96	94	
【保護者】子どもは家庭で、進路や将来のことについて話をするようになった。	69	41	-	-	-	
【保護者】子どもは家庭で、選挙や世の中のことについて話をするようになった。	44	41	-	-	-	

#### 5 今後の課題

就労意欲が低い生徒も見受けられるため、入学当初から進路ガイダンスや職業体験・職場見学等を積極的に実施し、早期に進路意識を芽生えさせ、自分自身で進路選択しようとする意欲や態度の育成、継続して就労できる忍耐力の育成等を図る。また、家庭で進路や就労に関して話し合いの場を持てるように積極的に情報提供を行う。



## 4) ソーシャルスキル向上支援

### ① 徳島中央高等学校定時制課程昼間部

#### ○ 「とくしま中央一座」の活動

##### 1 目的・ねらい

中学時代、いじめや不登校を経験した生徒たちが、本活動を通してソーシャルスキルを高め、自らの自信を取り戻し、生きる力を蓄え、誇りと貢献心を持って社会に役立ちたいと思える生徒の育成をめざす。

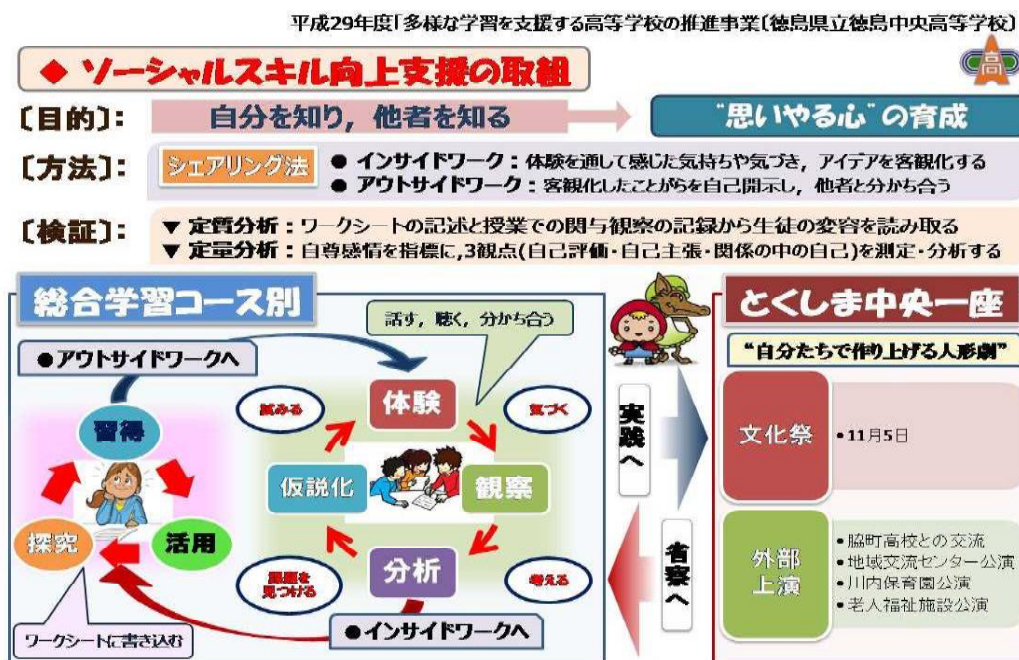
##### 2 内容

多様な学習支援事業の一環として「とくしま中央一座」がスタートして、本年度は最終年の3年目、人形劇団としては発足8年目となる。平成22年度、有志の生徒による「人形劇隊」と「絵本の読み聞かせ隊」として活動をスタートし、平成23年度より「総合的な学習の時間」コース別で展開させ、平成25年度からは部活動として認定され、毎年10名程度のメンバーが活動を続けている。

例年、11月に開催される本校文化祭を皮切りに、保育園や障がい者施設等で上演会を実施するとともにクリスマス会等のプログラムに参加し、交流会を行っている。

##### 3 取組

昨年度の活動から鳴門教育大学大学院教授小坂浩嗣氏の指導を受け、「シェアリング法」を用いた「活動の振り返り」を行っている。「振り返り」の中で自己肯定感尺度を測定して人形劇の活動そのものに生徒個々の「気づき」を持たせ、その「気づき」をメンバー同士のグループワークで分かち合い、「学び」につなげ、活動している当人たちがより充実感や達成感を味わい、メタ認知を促して確かで豊かな芸術活動として結実できるようメンバー一人一人の「成長」に導くという一つのプログラム化を図る取組を行っている。



本年度も、小坂教授の指導を受け、2年目として、さらに意識の高度化を意図し、「持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動」〔ESD (Education for Sustainable Development)〕のねらいを取り入れ、「協調性」「公共性」「積極性」「貢献心」「責任感」などが意識して涵養できるよう活動を進めた。

下記が、実際の自己肯定感到達尺度測定評価〔定量分析用〕アンケート用紙である。項目23～28がESDの視点で新たに追加していただいた部分である。

学年 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 組 \_\_\_\_\_ 番 名前 \_\_\_\_\_

皆さんの気持ちについて、学校での様子を中心におたずねします。  
質問に対して、自分の気持ちに近い数字に○をつけてください。

「あてはまる」場合は4、「どちらかといえばあてはまる」場合は3、「どちらかというあてはまらない」場合は2、「あてはまらない」場合は1を○でかこんでください。

< 記入例 >

例) 冬よりも秋が好きである      4 ———— 3 ———— 2 ———— 1

あてはまる
どちらかといえばあてはまる
どちらかというあてはまらない
あてはまらない

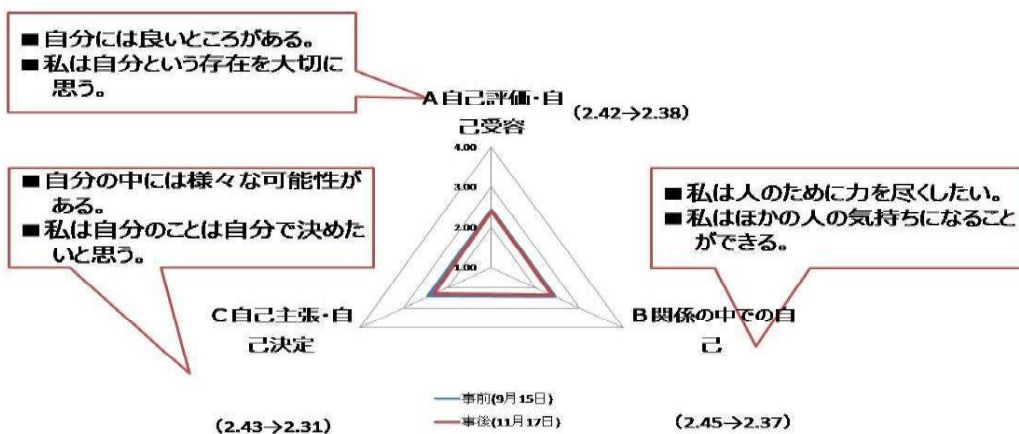
No	項目	
1	私は今の自分に満足している	4 ———— 3 ———— 2 ———— 1
2	人の意見を素直に聞くことができる	4 ———— 3 ———— 2 ———— 1
3	人と違っていても自分が正しいと思うことは主張できる	4 ———— 3 ———— 2 ———— 1
4	私は自分のことが好きである	4 ———— 3 ———— 2 ———— 1
5	私は人のために力を尽つきたい	4 ———— 3 ———— 2 ———— 1
6	自分の中には様々な可能性がある	4 ———— 3 ———— 2 ———— 1
7	自分はダメな人間だとは思わない	4 ———— 3 ———— 2 ———— 1
8	私はほかの人の気持ちになることができる	4 ———— 3 ———— 2 ———— 1
9	私は自分の判断や行動を信じていることができる	4 ———— 3 ———— 2 ———— 1
10	私は自分という存在を大切に思える	4 ———— 3 ———— 2 ———— 1
11	私には自分のことを理解してくれる人がいる	4 ———— 3 ———— 2 ———— 1
12	私は自分の長所も短所もよく分かっている	4 ———— 3 ———— 2 ———— 1
13	私は今の自分を好きに思う	4 ———— 3 ———— 2 ———— 1
14	いったん決めたことには責任を持って取り組む	4 ———— 3 ———— 2 ———— 1
15	私には誰にも負けないもの(こと)がある	4 ———— 3 ———— 2 ———— 1
16	自分には良いところがある	4 ———— 3 ———— 2 ———— 1
17	自分のことを見守ってくれている周りの人々に感謝している	4 ———— 3 ———— 2 ———— 1
18	私は自分のことは自分で決めたいと思う	4 ———— 3 ———— 2 ———— 1
19	自分は誰かの役に立っていると思う	4 ———— 3 ———— 2 ———— 1
20	私には自分のことを必要としてくれる人がいる	4 ———— 3 ———— 2 ———— 1
21	私は自分の個性を大事にしたい	4 ———— 3 ———— 2 ———— 1

22	私は人と同じくらい価値のある人間である	4 — 3 — 2 — 1
23	様々なことを自分で感じ、考えていると思う	4 — 3 — 2 — 1
24	自分の気持ちや考えを表現していると思う	4 — 3 — 2 — 1
25	他者と協力してものごとを進めていると思う	4 — 3 — 2 — 1
26	多様な価値観を認め、尊重していると思う	4 — 3 — 2 — 1
27	様々なことに自ら進んで取り組んでいると思う	4 — 3 — 2 — 1
28	私たちは将来の世代に対する責任をもっていると思う	4 — 3 — 2 — 1

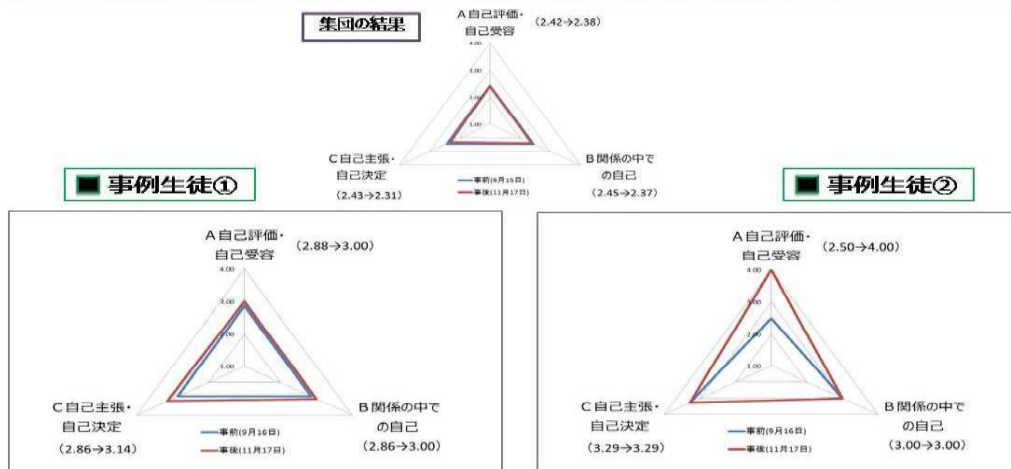
このアンケートを、「とくしま中央一座」の舞台練習に入った1回目と文化祭の上演会終了後、計2回に取ったものが下記のデータである。

[定量分析①図・定量分析②図ともに、鳴門教育大学大学院小坂浩嗣教授の測定による]

### ▼ 定量分析①：自尊感情3観点の集団平均(事前・事後テスト)



### ▼ 定量分析②：自尊感情3観点の個人平均(事前・事後テスト)

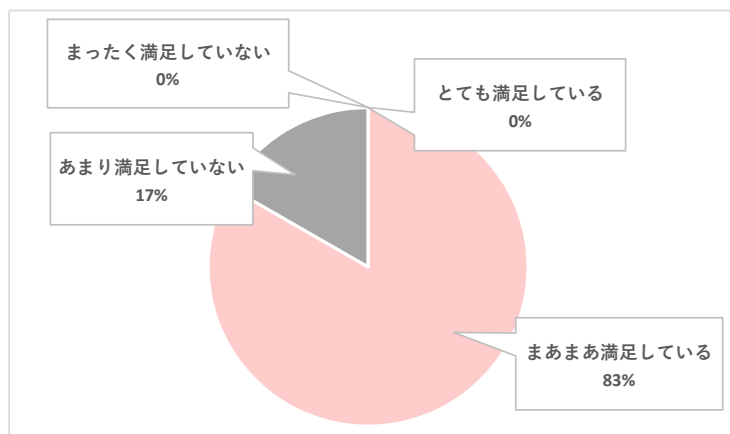


## ▼ 定質分析:ワークシートの記述より(毎時の振り返り)

アンケート結果 [9月29日/回答人数6人]

問1 あなたは今日の活動に満足していますか？

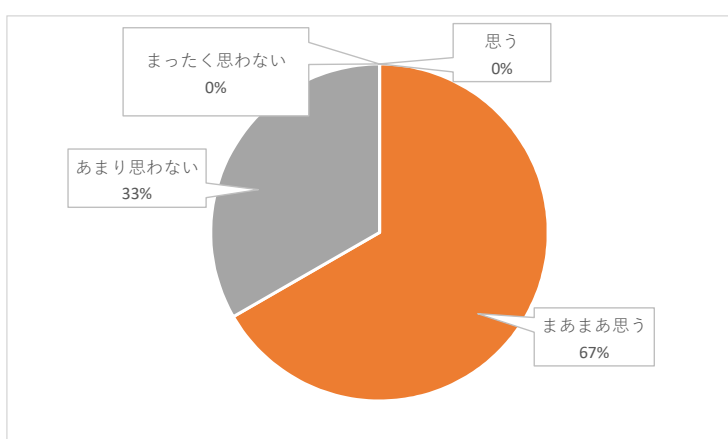
とても満足している	まあまあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない
0	5	1	0



**理由:**最初にしては上手くいき満足している/腕が疲れてしまい下がってしまったから/皆で上手く合わせたので/上手く出来たところが多く完成を楽しみにさせてくれるものであったから/シナリオの文章を直したい。また、人形を扱うのは難しいから。

問2 あなたの活動は何か役に立ったと思いますか？

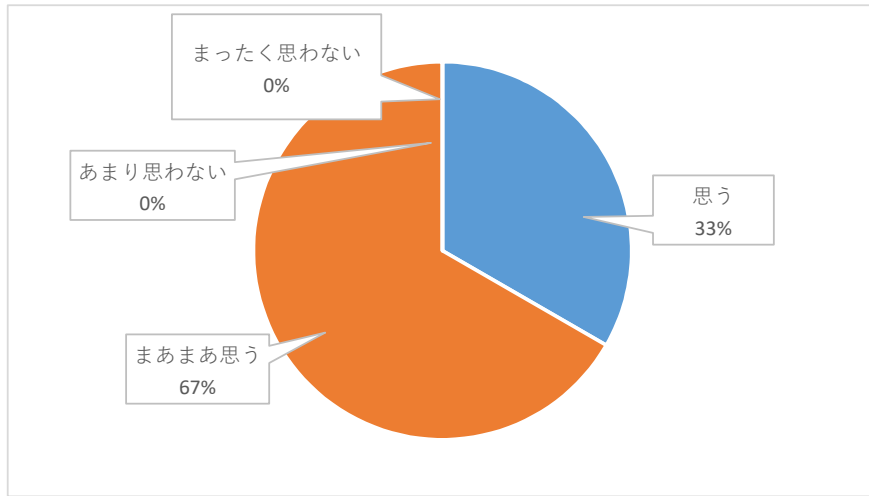
思う	まあまあ思う	あまり思わない	まったく思わない
0	4	2	0



**理由:**いろいろ発言したから/何年かして赤ちゃんが出来た時に、パペット等で遊んでやれそうだから

問3 次回の授業で頑張ろうと思いますか？

思う	まあまあ思う	あまり思わない	まったく思わない
2	4	0	0

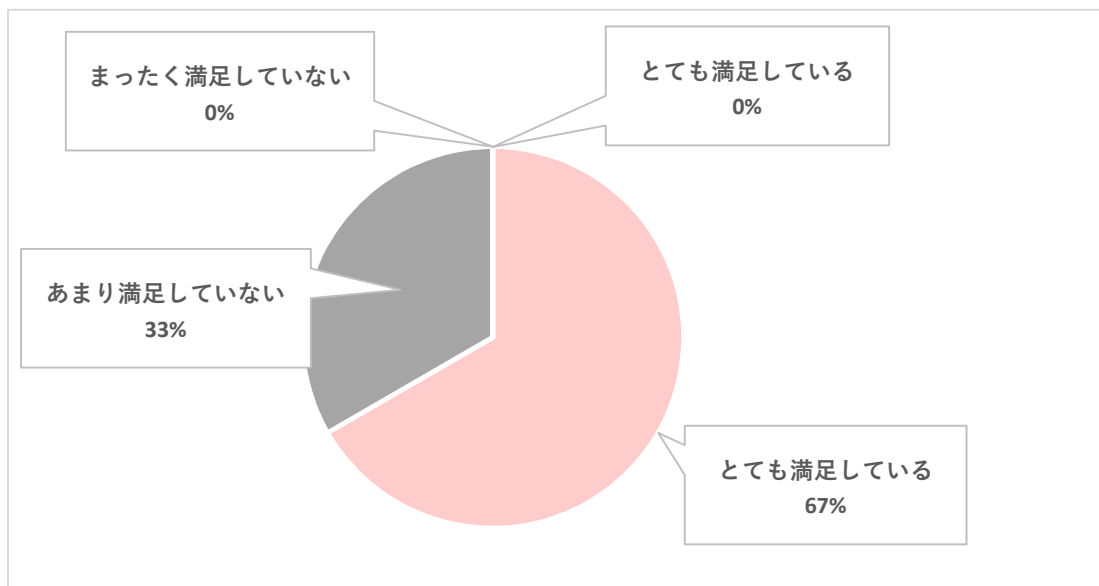


**理由:**声を何とかしたい、ぐだぐだを直したい。／次回も良いものにしたいから／腕がさがらないように頑張る、もっと大きな声で話したい／腕や足が疲れたので、そこを直して次回は頑張りたい。／もっと動かせるように頑張りたい。

アンケート結果 [10月6日/回答人数6人]

問1 あなたは今日の活動に満足していますか？

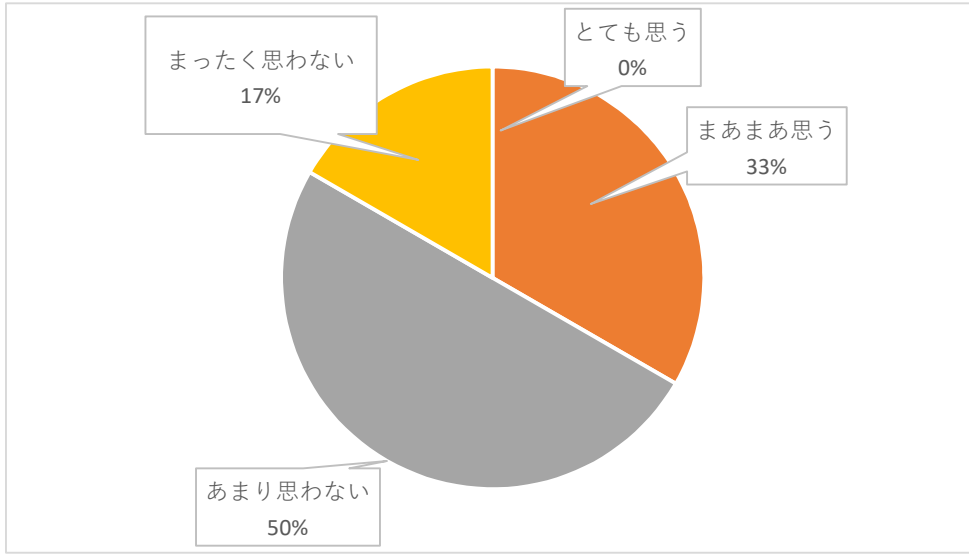
とても満足している	まあまあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない
0	4	2	0



**理由:**頑張って取り組んだから／人形の位置が下がらずに操作できたから／台詞を少しかんでしまったから／「キャア」などのリアクション台詞をもっとリアルに表現したい／動きがよくわかっておらず、もたもたしたから

問2 この時期の自分をほめてやりたいと思いますか？

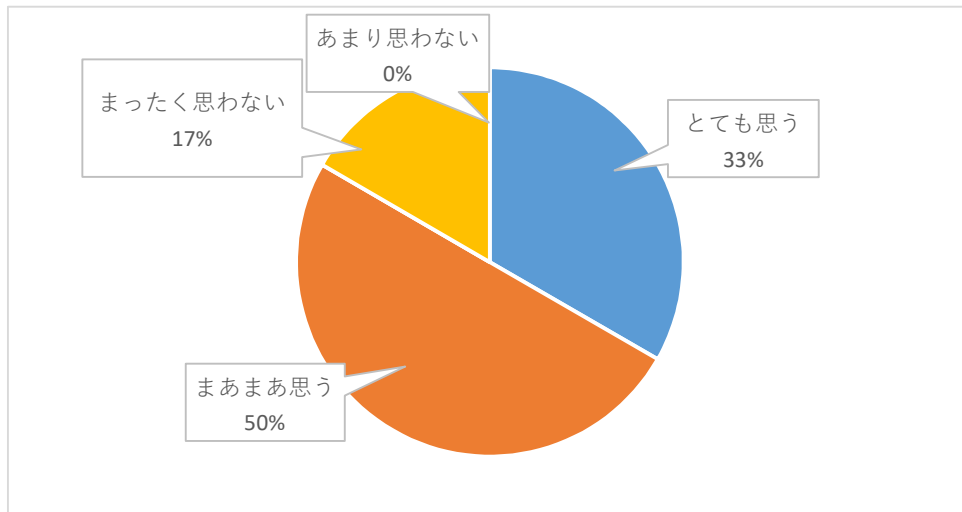
とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	まったく思わない
0	2	3	1



**理由:**最後までやりきったから／台詞が遅れたから／まだ何をどうすべきかわかっていないから／自分に厳しいので／手が痛いが見る人のために人形をあげておこうという気持ちがあるから／最後までやりきったから

問3 次回の授業で頑張ろうと思いますか？

とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	まったく思わない
2	3	0	1

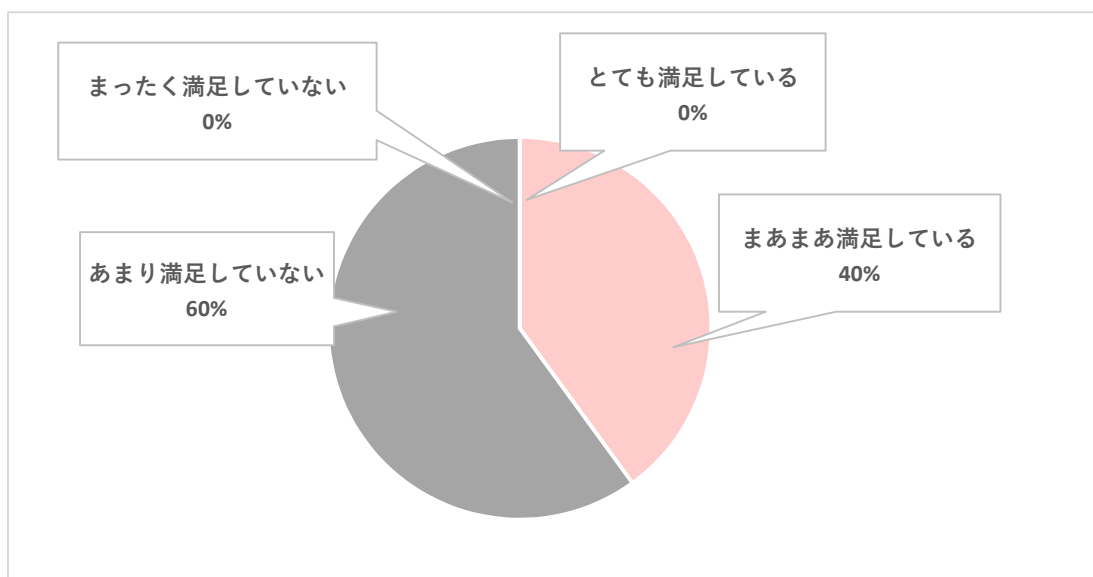


**理由:**今回も頑張れたので次回でも頑張る／台詞をかまわずに大きな声で感情をこめたい／自分の性格上／動きをもっときちんとしていたいから

アンケート結果〔10月20日／回答人数5人〕

問1 あなたは今日の活動に満足していますか？

とても満足している	まあまあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない
0	2	3	0

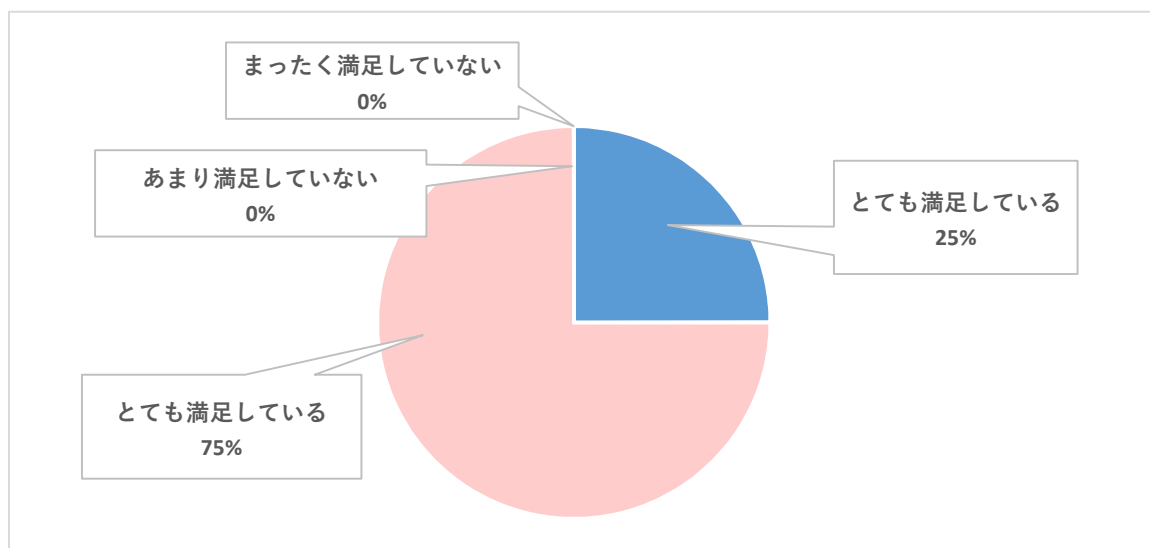


**理由:**体調が悪いなか、登校したから／台詞を見失ったから／自分の出番の時にスムーズに台詞が言えなかったから／自分の動きが悪かった

アンケート結果〔11月17日／回答人数4人〕

問1 あなたは今日の活動（文化祭の上演会）に満足していますか？

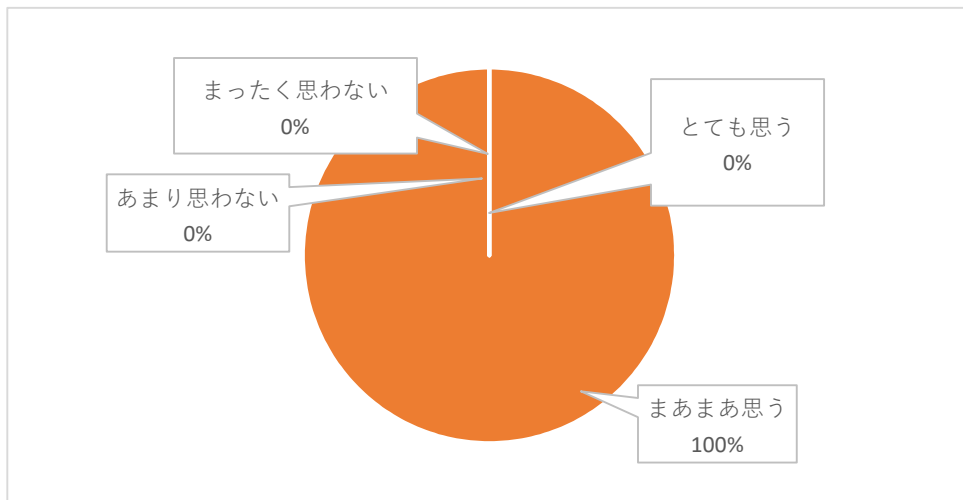
とても満足している	まあまあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない
1	3	0	0



**理由:**お客さんが満足していたから／初めてにしては上出来だったから／人形劇をすることで訪れた方が喜んでくれ、やりがいを感じたから

問2 あなたの活動は、何かに役立ったと思いますか？ その理由も述べなさい。

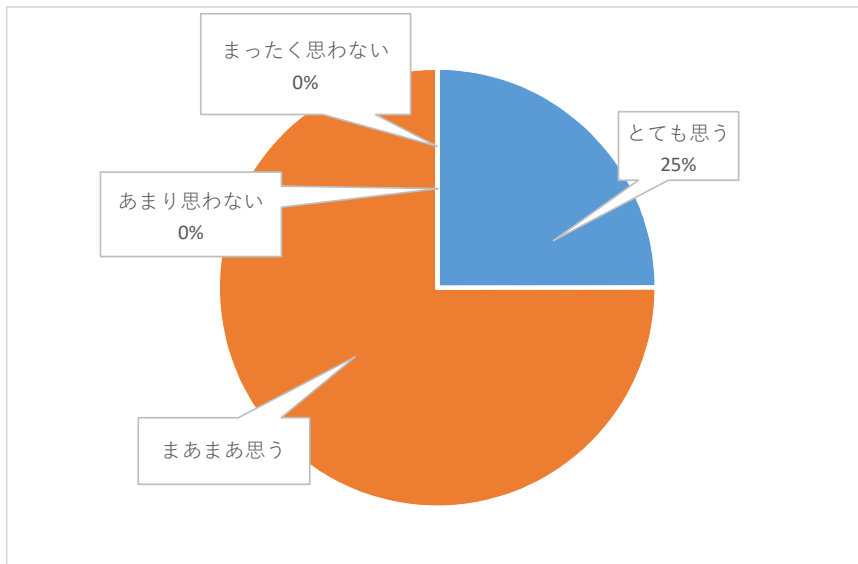
とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	まったく思わない
0	4	0	0



**理由:**一員として十分働けたから／将来に役立つと思ったから

問3 次回の上演会で頑張ろうと思いますか？

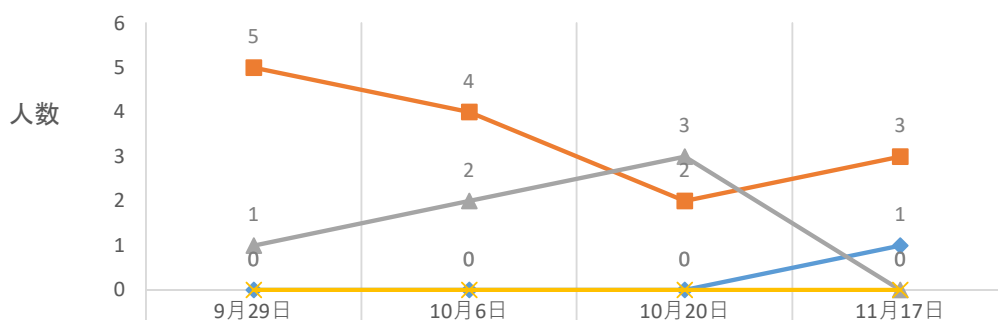
とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	まったく思わない
1	3	0	0



**理由:**(役柄を) 引き受けたからは頑張りたいと思うから／もっと声を出したい



## 満足度の推移（共通質問・問1）



	9月29日	10月6日	10月20日	11月17日
とても満足している	0	0	0	1
まあまあ満足している	5	4	2	3
あまり満足していない	1	2	3	0
まったく満足していない	0	0	0	0

時期

アンケート結果からも分かるように、数値としては若干ではあるものの、生徒たちは互いのメンバーの意見を参考にしながら、「協調性」「公共性」等の社会性を養い、また、刺激を受けながら自己肯定感を高め、活動そのものにも意欲をもやしている姿がうかがえた。

本年度扱う人形劇は、2・3年次生が『赤ずきんと三匹の子ブタ』、1年次生が『まんまるパン』で「とくしま中央一座」創設以来初めての2本立て構成が可能となった。

編成した2チームの人形劇団は、下記のような日程で練習を積み、上演をこなした。

### 「総合学習コース」授業経過と「とくしま中央一座」の公演経過

授業回	授業日	授業内容	出席者
第1次	9月15日(金)	台本の読み合わせ	
第2次	9月29日(金)	人形操作の練習	
第3次	10月6日(金)	人形劇の練習	
第4次	10月20日(金)	リハーサル	
第5次	11月5日(日)	校内文化祭で公演	
第6次	11月17日(金)	文化祭のふり返し	
第7次	11月24日(金)	人形劇の練習	
第8次	12月1日(金)	人形劇の練習	
第9次	12月13日(水)	徳島市川内保育園で公演	
第10次	12月16日(土)	脇町高校との交流会	
第11次	12月17日(日)	しらさぎ台活動センターXmas会で公演	
第12次	12月23日(土)	阿波市吉野図書館で公演	

※一年次生は、公演終了までほぼ毎日、放課後の練習に励んだ。

第1幕から第6幕までの人形役の立ち位置や小道具のセッティングをはじめ、場面の移り変わりで誰が小道具を動かすのか、また、場面場面でレイアウトを変化させるが、同様に人形使いの居場所も幕ごとによって変わっていくので、より合理的かつ効率の良い各々の動きが不可欠となるなど、他者と協調しながら行動を進める場面は多い。無理のない、見る側に違和感を与えることのないスムーズな場面展開ができるよう、練習をこなしていく中で、メンバー一人一人が模索し、今まで以上の取組となった。



#### 4 成果

(1) 毎年、近隣の保育園や障がい者施設、ケアホーム、市民活動センター等で「人形劇」と「絵本の読み聞かせ」の上演会を行い、園児や障がいのある方、高齢者や市民の方々から大変な好評を得ている。また、活動している生徒にとって、本活動が世代の違いや立場の違いといった他者理解への契機となり、思いやりの心や自己有用感の育成に役立っている。

(2) 入学前に様々な困難を抱えていた生徒たちが、本活動を通してソーシャルスキルを高め、芸術的表現活動を通して自信を取り戻し、周囲から評価を受け感謝されることで達成感を味わっている。その経験が生きる力となり、誇りと貢献する心を持って社会に役立つと、ここ数年、福祉や教育の分野で働く卒業生のほか、「ものづくり」の分野で活躍する卒業生が育っている。

今年8月に長野県で開催される、第42回全国高等学校総合文化祭人形劇部門への参加依頼を受けている。

#### ○「総合的な学習の時間」における「ソーシャルスキルアップコース」

##### 1 目的・ねらい

2年次以上の生徒を対象に、コミュニケーション等に不安を持っている希望者と、「コミュニケーションに難しさを抱えている」や「通常の指導で効果が上がりづらい」といった観点で、教員がリストアップした生徒に対して、それぞれの生徒の課題を少しでも解決していくことを目的として、このコースを設定した。

## 2 内容

実施時間 総合的な学習の時間（金）の中の年間12回  
午前部 第4時限 午後部 第4時限  
受講生徒 午前部：2年次生6名，3年次生3名  
午後部：2年次生4名，3年次生1名，4年次生1名

## 3 取組

1	5月19日(金)	①コースの説明 ②フルーツバスケット ③安心できる場・居心地のいい場についての意見交換
2	5月26日(金)	①「居心地の良さ」を考えるアンケート ②①のアンケートについての説明 ③「一人が好き」と思うのはなぜかについての意見交換
3	6月2日(金)	①自己紹介カードの記入 ②自己紹介 ③絵しりとり
4	6月9日(金)	①卓球バドミントン ②傾聴トレーニング
5	9月15日(金)	①エゴグラム ②3文字しりとり
6	9月29日(金)	①行動チェックシート
7	10月6日(金)	①進路に関する自己分析ワークシート
8	10月20日(金)	①ストレスに関する講義 ②ストレスチェック
9	11月17日(金)	①1日の生活での「やりたいこと」「しなくてはいけないこと・スケジュール（行動予定表）」についての講義 ②スケジュールを作る練習
10	11月24日(金)	①ルール・規則・法律についての講義 ②ルールを無視した場合の体験学習
11	12月1日(金)	①アサーショントレーニングについての講義 ②アサーティブ度チェックシート
12	1月12日(金)	①各生徒の分析結果通知 ②トランプ（大富豪）

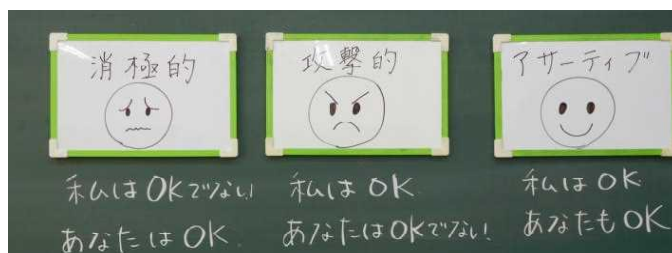
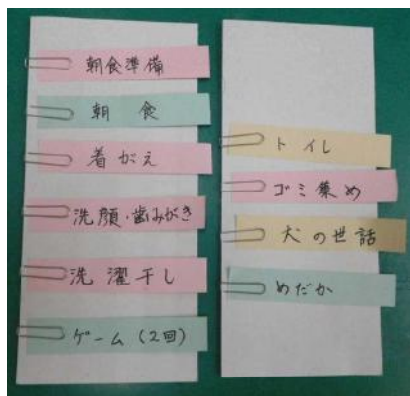
受講生徒は、静かに人の話を聞くことがとても苦手な生徒，他者と関わりをまったく持とうとする意思が見られない生徒，警戒心が強く心許せる相手以外には自分を自分以上に強く見せてそばに寄せつけまいとする生徒，自分に自信が持てず自分の言いたいことを表現できない生徒など多種多様であった。

年度当初，担当者3名で話し合い，「安心できる関係作り」「自分自身を知る活動」「各生徒それぞれの問題解決のヒントとなる活動」を柱に進めることを決めた。特に前半で多く行った遊び的な活動は，心のアイスブレイキングにもつながったが，各生徒の実態

把握にも大いに参考になった。

性格や行動や就職に関する適性などを分析するチェックシートでは、多くの生徒が分析結果にとっても興味を示していた。

「スケジュールを活用すること」は「すべきこと」の明確化により行動の混乱を防ぐことを目指して行った。「ルール・規則・法律をテーマとしたこと」は、集団における生活で逸脱した行動の防止につなげるために行った。「アサーショントレーニング」は自分の言いたいことをストレスなく発信することを目的として行った。



#### 4 成果

1学期は ADHD 傾向の強い生徒が集中できずに逸脱行動を行ったり、二人組を作ってもまったく口をきけない生徒がいたり、遊び的な活動には入ってこようとしなかったりと、全体で行う活動が全員に合うような設定は難しく、大変苦労した。その中で各生徒の課題を含めた実態の把握につながっていった。

2学期に行った各種のチェックシートを通して、さらに詳しく各生徒の分析ができた。問題解決のヒントとなる活動は、「こんなことに困っている人にはこんな方法があるよ」といった紹介に近い形となった。

最終回で、自立生活を送る上での能力チェックを各自してもらうとともに、教員側で分析した各生徒の課題やそれを解決するためのヒントを記した物を個別に配付した。配付された物を見て、「当たってる」と驚く声や、いつもよりも力みが消えているような生徒が見られた。最後に行ったトランプでは、今までほとんど関わりがなかった生徒同士で、自然な会話が行われる場面もあった。



#### 5 今後の課題

このような取り組みは教科書があるわけではない。受講生徒が変われば実態や課題も変わってくる。系統だって計画的に指導していくことは大変難しい。今回の12回も、常に手探り状態で進めていた。専門性が高く、発想力が豊かで、綿密に計画を立てて進められるような担当者の増員が必要である。

さらに効果を上げるためには、他の教科担当者や各生徒の担任との連携を深めていくことも必要となっていくだろう。

受講生徒の人数は5、6人程度が進めやすいように思う。

## ○「読み聞かせ」授業及び「読み聞かせ」体験授業の取組について

絵本の「読み聞かせ」授業をなぜ高校でやるのだろうか？ この事業をスタートさせた8年前、そのような素朴な疑問が示されることもあった。

しかし、継続的に取り組みを行い、その効果や魅力について思い知らされた今、もっと生徒たちに絵本と出わせたいという思いが強くなっている。

もちろん、本来の授業との兼ね合いで、シラバスに沿った進捗を辿らなければならないが、家庭的経済的に満たされていない生徒が多数在籍する本校では、このような「絵本の読み聞かせ授業」を取り入れることが有効と思われる。それは、生徒たちが絵本に描かれている世界を追体験することが心の浄化となり、癒しとなっていることや、自らの進路実現にむけて、向き合う力と優しい心を育み、他者や社会のために何か自分が役に立つことができないうだろうか？と利他の心を起こす営みがなされていることが感想文からもうかがえる。日常的に背負っている困難さや自身ではどうにもできない理不尽な諸々の出来事を乗り越える糧と成り得る元気を、読み手のボランティアの方々から戴いているようである。心地よい読み手の声に乗って、洗練された言葉と絵が、生徒たちの耳に、目に、届けられることで、生徒一人一人の内面の感情の発散（カタルシス）が起こり、無意識世界への創造的退行が訪れているのではないかと感ずる。



また、絵本には、人の心の温かさや思いやりといった真摯に生きる人間の優しさや、清く正しく生きていくことの崇高な精神を学んでいくことにも繋がっていると考える。

そのような一面が生徒の感想文からも、つぶさに読み取ることができる。

以下、いくつかの生徒の感想を記したい。

### 平成29年度 読み聞かせ感想文

『ある犬のおはなし』を聞いていた時に、最初はとてもよかったけれど、後半からどんどんひどくなって行って最後には殺処分されるのがとても腹が立つ。動物を飼うなら最後まで愛を込めて育てろって思う。人間の自分勝手な理由で、犬達が殺されていくのが本当につらいと思った。動物も一つの小さな命だから大切にしてほしい。

（『ある犬のおはなし』／男子）

クレヨン達には一人一人気持ちがあり、それぞれに考えていることも違うし、求めていることも違う。僕が生活をしている中で、人はこのクレヨンのように個性もあり、考え方も違うということを改めて考えさせられた。

（『クレヨンからのお願い』／男子）

私は『ともだちや』を読んでもらっていろいろ学べました。友達の“ふり”をして遊ぶ

なんて、ただの友達ごっこだし何か絵本を見て悲しくなりました。最後はちゃんといい話で終わってよかったです。(『ともだちや』／女子)

親に反対されて、海外に留学をさせられたりしても、あきらめないで留学先で正しい看護の仕方などを学んで帰ってきて、両親を説得して、戦争で傷ついた人を看護してたくさん命を救ったのがすごいと思いました。(『ナイチンゲール』／女子)

私も、じいちゃんの事がはずかしいと思った時がありました。でも、この絵本のジィちゃんみたいにとてもすごい人です。私の中で忘れかけていたじいちゃんの大切さを思い出させてくれた今、私の中で一番好きな絵本です。

(『ぼくのジィちゃん』／女子)

なぜ、『ぼくのジィちゃん』が心に残ったかという、僕にはじいちゃんがないからです。もし、じいちゃんが生きていたらどんなじいちゃんだったんだろうと考えながら聞いていました。だから、心に残りました。(『ぼくのジィちゃん』／男子)

『ともだちや』の話を聞いて、オオカミの言葉に共感しました。友達とはお金をもらってなるようなものじゃなくて「またあした。」って言えるような関係なんだなって改めて思いました。(『ともだちや』／女子)

この作品は、友達の大切さというものをもう一度思い出させてくれる作品でした。最初友達がいなかったキツネが、最終的に本当の友達ができるというのがとても感動しました。(『ともだちや』／男子)

個性的な絵本が多くてよく覚えています。『クレヨンからのおねがい』では、それぞれの話し方・文字によって見事にキャラが立っていて、絵本には出ていない色はどんな性格をしているだろうとつい考えてしまいました。(『クレヨンからのおねがい』／女子)

この絵本は前にも読んだことがあり、すごく印象深い本です。母猫が我が子のために命がけでミルクをとりに行き、子ども達を死なせまいと必死にミルクを探しまわる姿を見ると、読むたびにやっぱり母猫ってすごいなって感心します。

(『月へミルクをとりに行ったねこ』／女子)

どうせかけっこに出てもビリになるって分かってても、かけっこに出ているところに感動したけど、もっとすごかったのは、ジィちゃんの方でした。まさかジィちゃんがあんなに速いとは思っていませんでした。すごかったです。(『ぼくのジィちゃん』／男子)

最初は友達として遊ぶのにお金をとっていたが、最終的には、友達の大切さに気づかされて、何時間でもただと言いながら歩いて行ったところがよかった。この本を聞いて、改めて友達の大切さを知ることができました。(『ともだちや』／男子)

ゆったりとした BGM を聞きながら、お茶を頂きながら、私はこの本を読み聞かせしてもらいたいと思いました。言葉では伝えられないお母さんの想いが書かれていました。私が一番読んでもらいたい人は若いお母さんです。短い本ですが、疲れている人、迷っている人に読んでもらいたいです。子供が大きくなったら母の愛を知ると私は思いました。

『おかあさんはね』／女子

自分が何かをしている時に、他の人はこんなことをしているんだ、と思った本でした。外国に行くと、今でも戦争をしている国があるのがとても辛いと思いました。日本はとても平和な国でよかったと思いました。でもこれから、どこかで戦争が始まると思うと嫌になります。この本のように、平凡な人生を送りたい、戦争のない国にしてほしいと心から思いました。

『ぼくがラーメンたべるとき』／女子

本の題名からして心温まるような作品だなと思い、読んでいただく前からワクワクしていました。登場人物は子供ばかりでお母さんは一度も登場しなかったのも、もしかして空の上から見守っていることを描いている絵本なのかなと思いました。ほっこりするけど、少し寂しい気持ちにもなりました。自分のお母さんの事を考えてしまって、これからはもっと優しくしようと考え直す事ができました。将来、私にも子供ができればこの絵本を読んであげたいなと思いました。

『おかあさんはね』／女子

最初はゴンが兵十が川で取っていた魚を盗んでしまって、その後に兵十の事情を知ったゴンの姿に感動しました。兵十とゴンの姿に、お互いに分かり合えないという気持ちが切々と伝わってきて、途中で泣きそうになってきました。一度失ったものが二度と帰ってこないのは、やはりとても悲しい事なんだなと思いました。この話は本当に心に染みる話だったので図書館に行って、あったら借りて帰りたいと思いました。『ごんぎつね』／女子

私は『海をわたった折り鶴』を読んでいただいて、うらやましい気持ちと尊敬の気持ちがかみ上げてきました。うらやましいと思った理由は、クラスの子達が一人のために鶴を折ってくれたり、最後まで応援してあげていたりしたからです。尊敬の気持ちは、その病気になった女の子に対してです。クラスの子達がそんな風にしてくれたのは、その女の子の今までの生き方に理由があると思います。みんなに良くしてたから、良くしてくれたんじゃないかなと思いました。

『海をわたった折り鶴』／女子

私は『やまなし』を聞いて、小学校の時に習ったこともあり、懐かしいと思いました。作品名だけ聞いたときは、どんな作品かがよく分からなかったけれど、2、3文聞いたらすぐ分かりました。小学校のときとは違うところから聞くことができ、おもしろかったです。私はこの話を聞いてから、小学校で習った短い本などをまた読んでみたいなって思いました。そして、絵本って改めて読んだり聞いたりしたら楽しいと思いました。

『やまなし』／女子

僕は『おっぱい』が一番心に残りました。なぜなら、どのページを開いてもおっぱいしか出てこないからです。でも、おっぱいばかりだと面白くないので、所々に動物のおしり

を入れたりするといいいと思いました。気づいたことは、ゴリラのおっばいと人のおっばいが似ているということです。おっばいの形だけで何の動物かを当てるのは難しかったです。でも、当たると嬉しかったです。だから、一番心に残った作品です。(『おっばい』／男子)

私は、『みて!』という作品が一番心に残りました。理由は、たったの一言「みて」という言葉だけで話が展開し、とてもおもしろかったからです。また、次のページには「みて」以外の言葉は出てくるのだろうか?など非常にわくわくしながら聞きました。読み手さんから、読む人によって読み方が変わってくると聞いたので、私も読んでみたいなと思いました。絵本は、わくわくしたり感動したりといろいろな感情を教えてくれるところがいいと思いました。(『みて!』／女子)

小学校の頃、教科書に載っているのを見て、今もまだ記憶に残っている大好きな作品をまた読み聞かせてもらえて本当に嬉しかったです。悪さばかりしていたごんが、ある事を機に男の家に魚やくりを置いてあげる優しさに心をひかれ、結末のごんを殺してしまった後に真実を知った男の気持ちが痛いほど伝わり、思わず泣いてしまいそうでした。人前で発表するのが苦手なので、読み聞かせで人を感動させられるのが本当にすごいなと感じました。(『ごんぎつね』／女子)

自分は、この『うらしまたろう』の絵本の読み聞かせを聞いてとても懐かしいと思いました。多分、この絵本のお話は有名だと思うのですが、自分は3回ぐらいしか聞いたことがありませんでした。お話については、亀を助け、竜宮城に行くという内容だとは思いますが、自分ならその後竜宮城で1年過ごしてたと思います。うらしまたろうの気持ちも分からないこともないですが...。(『うらしまたろう』／男子)

私が一番印象に残った絵本は『ごんぎつね』です。なぜかというと、小学校の授業でやって面白いなと思っていたからです。その時は小さかったのであまり絵本の内容がいまいち分からず読んでいましたが、高2になって見ると、ごんがどんな思いでくりなどを運んでいたかなどがよく分かりました。(『ごんぎつね』／男子)

僕が最も心に残っている本は、『ごんぎつね』です。『ごんぎつね』は僕が幼稚園に通っていたときに、園長先生が職員室で一緒に読んでくれた本の一つです。友達がいなくて一人ぼつんとしていたときに読んでいただきました。それから11年間『ごんぎつね』を見たり読んだりしていなかったのですが、その出来事もすっかり忘れてしまっていたのですが、今回かぶとむしさん達が読んでくださって昔のことを思い出すことができました。(『ごんぎつね』／男子)

これを見て私は、片時も離れず、飼い主が辛そうにしていたらなぐさめ、喜んでいたら一緒に喜んでくれる、ここまで忠実でかわいくてすごくできる子犬でも、飼い主側が何かの理由で飼えなくなってしまったり、そういった所に持って行かれてしまうんだなと思いました。人間も動物も同じ生き物で命があるのに、そういう扱い方をする人がいるから、命がなくなってしまったり、捨てられてしまったりする動物がたくさん増えているんだな



と思うと、悲しくなりました。

(『エリカ 奇跡の命』／女子)

僕はこの絵本を聞き、日本語って難しいなと思いました。よく外国人が日本語は話すのが難しいと言うように、日本語は相手に話すときに、声の高さや顔の表情によって伝わり方が違います。例えば、「ありがとう」と言うときに、声が低かったり、表情が暗かったりすると相手は本当に感謝しているのか疑問に思ってしまう。

この絵本では、場合に応じて言葉に強弱をつけて読んでくれて、その感じの違いを体感することができました。日本語を話すのは難しいと改めて感じた作品でした。

(『みて!』／男子)

私が一番印象に残っているのは「おっばい」です。小さい子に読んでるように読んでくれたし、クラスメイトの答え方もおもしろかったです。私も将来、子どもができれば、絵本を読んであげたいなって思いました。絵本は普通に読むんじゃなくて、言い方に強弱をつけたり、役になりきって読んでみたり、おもしろく読んでみたりと、いろいろな読み方があるんだと分かって、勉強になりました。私も一回、読み手になってみたけど、意外と難しいんだなって思いました。

(『おっばい』／女子)

私が見て聞いておもしろかった本は、『てぶくろをかいに』です。人間にバレないように、お母さんと約束した子ぎつねが、お店でうっかりそのままの手を出したのにもかかわらず、おじいさんは優しくて子ぎつねを捕まえることもなく、無事に手ぶくろを買えたところがとても感動しました。私の子ぎつねの立場だったら、きっと同じように違う手を出してしまうだろうなと思いました。

(『てぶくろをかいに』／女子)

キツネがでてくる『ごんぎつね』と『てぶくろをかいに』は昔から好きな物語です。しかし、読み終わり後の気持ちは全然違います。間違えてキツネの手を出してしまったのに優しいおじいさんに手袋をもらった心温まる話に対して、元は自分のいたずら心のせいでお母さんの願いを叶えられなかったとはいえ、最後に撃たれてしまう後味の悪い話。全然違う話ですが、二冊とも、個人的には自分の思うキツネ像に当てはまるなと思いました。

(『ごんぎつね』『てぶくろをかいに』／女子)

私は、『てぶくろをかいに』という本が一番心に残りました。きつねの手を見せてしまったけど、そのてぶくろを売ってくれるおじいさんは何事もなかったように売ってくれたところが一番良かったです。読み手の方の読み方がよくて、心に響きました。心に残る絵本に久々に出会えました。きつねの親子とおじいさんの話は泣きそうにもなり笑いそうにもなり、すごく感動しました。それに、今の時期にもすごくぴったりで、よかったと思いました。

(『てぶくろをかいに』／女子)

私が一番心に残る作品は、『ごんぎつね』です。小学校のときにも読み聞かせをしてくれたり、国語の本にも書いてあったりしました。だから、一番心に残っています。

ごんはとても心が優しいきつねで、兵十のために魚やくりを持ってきていました。しかし、そのせいで兵十は魚を盗んだと魚売りに思われ怒らてしまい、誤解したままごんを撃

ってしまいました。結末は悲しいけれど、最後、ごんが魚やくりを持ってきてくれていたことに兵十が気づいたのはよかったなと思いました。 (『ごんぎつね』／女子)

本年度、年間30回の「読み聞かせ」授業を終え、改めて読み聞かせの効果を考えてみると、次の一点を挙げることができる。

それは、一つは、「気づき」が生まれたこと。生徒が幼少年時代を追憶し、癒しがもたらされたこと。絵本の世界に描かれた幸福の世界や、時には悲しみに浸ったこともあるだろう。けれども、悲しみも、その涙を流し切った後、穏やかな落ち着いた心を取り戻していたと思われる。

もう一つ、本校で「読み聞かせ」授業を実施する際に持つべき視点として、「疎外された者への温かな眼差し」である。

童話の中に出てくる「オオカミ」「へび」「カラス」は、人や他の動物たちを忌み嫌われるキャラクターとして描かれ扱われることが多い。そして、その扱われ方（登場の仕方）が読者側への怒りを掻き立て、醜悪なイメージとして定着している。そういったマイナスイメージを払拭すべく、忌み嫌われてきたキャラクター側に立った絵本や童話、児童小説などが、次々にリベラル派やヒューマニティな視点に立つ作家たちから作品が生み出され、絵本として出版されるようになったのは、ここ十数年くらいであろうと思われる。

今年度、読み手としてお越しいただいている、「吉野川市よみきかせグループ かぶとむし」を主宰しておられる川端美紀さんには、この辺りの視点を持って本校2年次の生徒への「読み聞かせ」をして頂けるよう、依頼をさせていただいていた。読み手の方々は、その意図を十分に汲み取ってくださり、聞きごたえのある「読み聞かせ」を行ってくださった。

以下は、読み手の方々が、今年度、読み聞かせてくださった図書一覧である。2年次の各クラスで全10回、合計30回、総数42冊の絵本や紙芝居を読んでいた。いずれも国内外の名作と呼ばれる作品群である。それにしても、彼女たち読み手の朗読は、絶妙のパフォーマンスかつクオリティの高いものであったことを付け加えておきたい。

平成29年度 読み聞かせプロジェクト 使用図書一覧

回	月日/HR	テーマ/朗読者	題名	作者・訳者
1	9月14日 1限目 201HR	「友情・仲間」 川端 美紀氏 森住 啓子氏 渡邊 美智子氏	あのとすきになったよ クレヨンからのおねがい ともだちや ぼくのイスなのに！	(作)薫 くみこ (絵)飯野 和子 (文)ドリュー・デイウォルト (絵)オリヴァー・ジェファーズ (訳)木坂 涼 (作)内田 麟太郎 (絵)降矢 なな (作・絵)ロス・コリンズ (訳)いしい ひろし
2	9月14日 2限目 202HR	「友情・仲間」 川端 美紀氏 森住 啓子氏 渡邊 美智子氏	あのとすきになったよ クレヨンからのおねがい ともだちや ぼくのイスなのに！	(作)薫 くみこ (絵)飯野 和子 (文)ドリュー・デイウォルト (絵)オリヴァー・ジェファーズ (訳)木坂 涼 (作)内田 麟太郎 (絵)降矢 なな (作・絵)ロス・コリンズ (訳)いしい ひろし
3	9月14日 8限目 203HR	「友情・仲間」 川端 美紀氏 森住 啓子氏 渡邊 美智子氏	あのとすきになったよ クレヨンからのおねがい ともだちや ダメ！	(作)薫 くみこ (絵)飯野 和子 (文)ドリュー・デイウォルト (絵)オリヴァー・ジェファーズ (訳)木坂 涼 (作)内田 麟太郎 (絵)降矢 なな (作)くすのき しげのり (絵)いもと ようこ
4	9月21日 1限目 201HR	「季節を感じる」 川端 美紀氏 森住 啓子氏 渡邊 美智子氏	月へミルクを とりに行ったねこ かぜはどこへいくの ぼくのジィちゃん でんせつつきよだい あんまんをはこべ	(作)アルフレッド・スメードベルイ (絵)垂石 眞子 (訳)菱木 晃子 (作)シャーロット・ゾロトワ (絵)ノッツ・ハワード (訳)松岡 享子 (作)くすのき しげのり (絵)吉田 尚令 (作)サトシン (絵)よしなが こうたく
5	9月21日 2限目 202HR	「季節を感じる」 川端 美紀氏 森住 啓子氏 渡邊 美智子氏	月へミルクを とりに行ったねこ かぜはどこへいくの ぼくのジィちゃん でんせつつきよだい あんまんをはこべ	(作)アルフレッド・スメードベルイ (絵)垂石 眞子 (訳)菱木 晃子 (作)シャーロット・ゾロトワ (絵)ノッツ・ハワード (訳)松岡 享子 (作)くすのき しげのり (絵)吉田 尚令 (作)サトシン (絵)よしなが こうたく
6	9月21日 8限目 203HR	「季節を感じる」 川端 美紀氏 森住 啓子氏 渡邊 美智子氏	月へミルクを とりに行ったねこ かぜはどこへいくの ぼくのジィちゃん 十五夜さま(紙芝居)	(作)アルフレッド・スメードベルイ (絵)垂石 眞子 (訳)菱木 晃子 (作)シャーロット・ゾロトワ (絵)ノッツ・ハワード (訳)松岡 享子 (作)くすのき しげのり (絵)吉田 尚令 (脚本)渋谷 勲 (画)藤田 勝治
7	9月28日 1限目 201HR	「生命」 藤川 眞弓氏 渡邊 美智子氏 堀江 満子氏	わすれられないおくりもの ある犬のおはなし ナイチンゲール(紙芝居)	(作・絵)スーザン・パーレイ (訳)小川 仁央 (作)kaisei (作)福島 のり子 (絵)小谷野 半二
8	9月28日 2限目 202HR	「生命」 藤川 眞弓氏 渡邊 美智子氏 堀江 満子氏	わすれられないおくりもの ある犬のおはなし ナイチンゲール(紙芝居)	(作・絵)スーザン・パーレイ (訳)小川 仁央 (作)kaisei (作)福島 のり子 (絵)小谷野 半二
9	9月28日 8限目 203HR	「生命」 藤川 眞弓氏 渡邊 美智子氏 堀江 満子氏	わすれられないおくりもの ある犬のおはなし ナイチンゲール(紙芝居)	(作・絵)スーザン・パーレイ (訳)小川 仁央 (作)kaisei (作)福島 のり子 (絵)小谷野 半二
10	10月19日 1限目 201HR	「世界を越えて」 藤川 眞弓氏 森住 啓子氏 渡邊 美智子氏	アフリカの音 海をわたった折り鶴 エリカ 奇跡のいのち いっしょだよ	(作・絵)沢田 としき (作・絵)石倉 欣二 (作)ルース・バンダー・ジー (絵)ロベルト・インノチェンティ (訳)柳田 邦夫 (文・写真)小寺 卓矢
11	10月19日 2限目 202HR	「世界を越えて」 藤川 眞弓氏 森住 啓子氏 渡邊 美智子氏	アフリカの音 海をわたった折り鶴 エリカ 奇跡のいのち いっしょだよ	(作・絵)沢田 としき (作・絵)石倉 欣二 (作)ルース・バンダー・ジー (絵)ロベルト・インノチェンティ (訳)柳田 邦夫 (文・写真)小寺 卓矢

回	月日/HR	テーマ/朗読者	題名	作者・訳者
12	10月19日 8限目 203HR	「世界を越えて」 藤川 眞弓氏 森住 啓子氏 渡邊 美智子氏	アフリカの音 海をわたった折り鶴 エリカ 奇跡のいのち いっしょだよ	(作・絵) 沢田 としき (作・絵) 石倉 欣二 (作) ルース・バンダー・ジー (絵) ロベルト・インノチェンティ (訳) 柳田 邦夫 (文・写真) 小寺 卓矢
13	10月26日 1限目 201HR	「昔話」 川端 美紀氏 堀江 満子氏 渡邊 美智子氏	うらしまたろう ごんぎづね(紙芝居) じごくのそうべえ とこやにいったライオン	(絵) 秋野 不矩 (再話) 時田 史郎 (原作) 新美 南吉 (絵) 長野 ヒデ子 (作・絵) 田島 征彦 (作) サトシン (絵) おくはらゆめ
14	10月26日 2限目 202HR	「昔話」 川端 美紀氏 堀江 満子氏 渡邊 美智子氏	うらしまたろう ごんぎづね(紙芝居) じごくのそうべえ あいつとぼく	(絵) 秋野 不矩 (再話) 時田 史郎 (原作) 新美 南吉 (絵) 長野 ヒデ子 (作・絵) 田島 征彦 (作) 辻村 ノリアキ (絵) 羽尻 利門
15	10月26日 8限目 203HR	「昔話」 川端 美紀氏 堀江 満子氏 渡邊 美智子氏	うらしまたろう ごんぎづね(紙芝居) じごくのそうべえ とこやにいったライオン	(絵) 秋野 不矩 (再話) 時田 史郎 (原作) 新美 南吉 (絵) 長野 ヒデ子 (作・絵) 田島 征彦 (作) サトシン (絵) おくはらゆめ
16	11月9日 1限目 201HR	森住 啓子氏 藤川 眞弓氏 川端 美紀氏	「いる」じゃん おおきな木 やまなし	(作) くどう なおこ (絵) 松本 大洋 (作・絵) シェル・シルヴァスタイン (訳) ほんだ きんいちろう (作) 宮沢 賢治 (絵) 遠山 重年
17	11月9日 2限目 202HR	森住 啓子氏 藤川 眞弓氏 川端 美紀氏	「いる」じゃん おおきな木 やまなし	(作) くどう なおこ (絵) 松本 大洋 (作・絵) シェル・シルヴァスタイン (訳) ほんだ きんいちろう (作) 宮沢 賢治 (絵) 遠山 重年
18	11月9日 8限目 203HR	森住 啓子氏 藤川 眞弓氏 川端 美紀氏	「いる」じゃん おおきな木 やまなし	(作) くどう なおこ (絵) 松本 大洋 (作・絵) シェル・シルヴァスタイン (訳) ほんだ きんいちろう (作) 宮沢 賢治 (絵) 遠山 重年
19	11月16日 1限目 201HR	渡邊 美智子氏 堀江 満子氏 森住 啓子氏	わたしはおにぎり すてきな三にんぐみ ゆきおんな(紙芝居)	(作・絵) 赤川 明 (作) トミー・アンゲラー (訳) 今江 祥智 (脚本) 桜井 信夫 (画) 箕田 源二郎
20	11月16日 2限目 202HR	渡邊 美智子氏 堀江 満子氏 森住 啓子氏	わたしはおにぎり すてきな三にんぐみ おっぱい	(作・絵) 赤川 明 (作) トミー・アンゲラー (訳) 今江 祥智 (作・絵) 宮西 達也
21	11月16日 8限目 203HR	渡邊 美智子氏 堀江 満子氏 森住 啓子氏	わたしはおにぎり 花さき山	(作・絵) 赤川 明 (作) 斉藤 隆介 (絵) 滝平 二郎
22	11月30日 1限目 201HR	渡邊 美智子氏 藤川 眞弓氏 堀江 満子氏	ぼくがラーメンたべるとき おかあさんはね てぶくろをかいに (紙芝居) みて! ケチャップマン	(作・絵) 長谷川 義史 (文) エイミー・クラウス・ローゼンタール (絵) トム・リヒテンヘルド (訳) 高橋 久美子 (原作) 新美 南吉 (脚本) 堀尾 青史 (絵) 二俣 英五郎 (作) 高畠 那生 (作) 鈴木 のりたけ
23	11月30日 2限目 202HR	渡邊 美智子氏 藤川 眞弓氏 堀江 満子氏	おかあさんはね てぶくろをかいに (紙芝居) みて!	(文) エイミー・クラウス・ローゼンタール (絵) トム・リヒテンヘルド (訳) 高橋 久美子 (原作) 新美 南吉 (脚本) 堀尾 青史 (絵) 二俣 英五郎 (作) 高畠 那生
24	11月30日 8限目 203HR	渡邊 美智子氏 藤川 眞弓氏 堀江 満子氏	おかあさんはね てぶくろをかいに (紙芝居) みて!	(文) エイミー・クラウス・ローゼンタール (絵) トム・リヒテンヘルド (訳) 高橋 久美子 (原作) 新美 南吉 (脚本) 堀尾 青史 (絵) 二俣 英五郎 (作) 高畠 那生
25	1月11日 1限目 201HR	「時代」 川端 美紀氏 森住 啓子氏 堀江 満子氏	わにわにのおおけが ちいさいおうち ヤートモタチ	(作) 小風 さち (絵) 山口 マオ (作) パージニア・リー・バートン (絵) いいし ももこ (絵) 近藤 真由 (製作・脚本) ドイツ村BANDOロケ村保存会

回	月日/HR	テーマ/朗読者	題名	作者・訳者
26	1月11日 2限目 202HR	「時代」 川端 美紀氏 森住 啓子氏 堀江 満子氏	わにわにのおおけが ちいさいおうち ヤートモタチ	(作)小風 さち (絵)山口 マオ (作)バージニア・リー・バートン (絵)いしい ももこ (絵)近藤 真由 (製作・脚本)ドイツ村BANDOロケ村保存会
27	1月11日 8限目 203HR	「時代」 川端 美紀氏 森住 啓子氏 堀江 満子氏	わにわにのおおけが ちいさいおうち ヤートモタチ	(作)小風 さち (絵)山口 マオ (作)バージニア・リー・バートン (絵)いしい ももこ (絵)近藤 真由 (製作・脚本)ドイツ村BANDOロケ村保存会
28	1月18日 1限目 201HR	「家族」 川端 美紀氏 堀江 啓子氏	おかあちゃんが つくったる ごめんなさい 父のかお 母のかお (紙芝居)	(作・絵)長谷川 義史 (作)サトシン (絵)羽尻 利門 (脚本)ときわ ひろみ (絵)渡辺 享子 (監修)遠山 昭雄
29	1月18日 2限目 202HR	「家族」 川端 美紀氏 堀江 啓子氏	おかあちゃんが つくったる ごめんなさい 父のかお 母のかお (紙芝居)	(作・絵)長谷川 義史 (作)サトシン (絵)羽尻 利門 (脚本)ときわ ひろみ (絵)渡辺 享子 (監修)遠山 昭雄
30	1月18日 8限目 203HR	「家族」 川端 美紀氏 堀江 啓子氏	おかあちゃんが つくったる ごめんなさい 父のかお 母のかお (紙芝居)	(作・絵)長谷川 義史 (作)サトシン (絵)羽尻 利門 (脚本)ときわ ひろみ (絵)渡辺 享子 (監修)遠山 昭雄

## ② 徳島中央高等学校定時制課程夜間部

### ○ 「絵本の読み聞かせ」授業の実施

#### 1 目的・ねらい

本校の生徒には人間関係をうまく構築することが苦手な生徒が少なからずおり、その背景には、自己肯定感が低く自己を認識することや他者の心情を適切に推測することができないという特徴がある。読み聞かせの体験をすることは子どもの感受性を豊かにしたり、想像力を高めたりする効果があり、読み手から聞き手に対して好感情を伝達する良い手段であるともされている。

生徒たちは評論文や随想などよりも物語文を好み、積極的に取り組もうとする傾向が見られる。また、小学校・中学校時代に読み聞かせの授業を体験し、そのことを良い思い出として記憶しているものもある。そこで「絵本の読み聞かせ」授業を受ける中で、生徒たちが絵本の世界を追体験して想像力を向上させ、他者の心情を適切に推測する能力を身につけること、それに加えて、穏やかな気持ちで自分自身を見つめる機会とすることによって自己肯定感を高めることをねらいとする。

#### 2 内容

夜間部生徒を対象として主に国語総合・古典A・国語表現・現代文Aの授業において「絵本の読み聞かせ」授業を行った。講師（2名）は「とくしまお話を語る会」に依頼した。

### 3 取組

[使用図書等]

○第1・2回：6月5日 6月6日

題名	作者・訳者
ちいさなみどりのかえるさん	(作・絵) フランセス・バリー (訳) たにゆき
ハスの花の精リアン	(作・絵) チェン・ジャンホン (訳) 平岡敦
腰折れすずめ	(編) 東京子ども図書館
富士山うたごよみ	(短歌・文) 俵万智 (絵) U. G. サトー
おじさんのかさ	(作・絵) 佐野洋子

[授業風景]



○第3・4回：7月14日

題名	作者・訳者
しりとりあそび しろとくろ	(作・絵) 星川ひろ子 星川治雄
ももたろう	(文) 松居直 (画) 赤羽末吉
のはらうた おれはかまきり	(詩) くどうなおこ (画) ほこはまたかし
上方落語 犬の目	(文) 桂米平 (絵) いとうひろし
ストライプ	(文・絵) デヴィッド・シャノン (訳) 清水奈緒子
よかったねネッドくん	(作) シャーリップ (訳) やぎたよしこ

[授業風景]



○第5・6回：9月5日・11日

題名	作者・訳者
めっきらもつきら どおんどん	(作) 長谷川摂子 (絵) ふりやなな
やまなしもぎ	(再話) 平野直 (絵) 太田大八
めぐろのさんま	(作・絵) 川端誠
きょうのごはん	(作) 加藤休ミ
かぞえうたのほん	(作) 岸田衿子 (絵) スズキユージ
だごだご ころころ	(再話) 石黒なみ子・梶山俊夫 (絵) 梶山俊夫

[授業風景]





○第7・8回：10月2日・3日

題名	作者・訳者
さるとかに	(作) 神沢利子 (絵) 赤羽末吉
月がくれたきんか	(作) ルッサルト (絵) ウィルコン (訳) いずみちほこ
おひやくしょうとえんまさま	(再話) 君島久子 (絵) 佐藤忠良
ばけばけはっぱ	(写真・文) 藤本ともひこ

〔授業風景〕





○第9回・10回：12月19日

題名	作者・訳者
ちらちらゆきー冬の詩	(編) こわせたまみ (絵) 黒井健
100万回生きたねこ	(作・絵) 佐野洋子
こいぬが生まれるよ	(作) ジョアンナ・コール (訳) 坪井郁美 (写真) ジェローム・ウェクスラー
葉っぱのフレディーーいのちの旅ー	(作) レオ・バスカーリア (絵) 島田光雄 (訳) みらいなな
しろいふゆ	(作・絵) ロバート・サブダ (訳) 長瀬比奈
たまごにいちゃん	(作・絵) あきやまただし
しろいうさぎとくろいうさぎ	(作・絵) ガース・ウイリアムズ (訳) 松岡享子
ころころパンダ	(作・絵) いりやまさとし
ゆらゆらパンダ	

[授業風景]





#### 4 成果

初回の頃から絵本の読み聞かせの授業に介しておおむね好意的ではあるものの受動的でもあった生徒たちだが、回を重ねるごとに聞く態度に意欲が見られはじめ、表情も柔らかくなっていったように見受けられた。次の読み聞かせ授業の日を楽しみにしていると伝えてくれる生徒もおり、積極性も徐々にではあるが芽生えている様子が見られるようになった。その日に読み聞かせをしてもらった絵本について、クラスメイト同士の会話の端にのぼっていたのを聞き、絵本の世界に対する感想や感動を自分の中で持つことが出来ているのは、国語教育の観点からも喜ばしいことだと思われる。また、生徒自身が希望する進路と重ねて、絵本の読み聞かせを仕事に必要なスキルとして認識しながら聞いている生徒もいたことから、自分自身を見つめる機会としては一定の効果があったと感じている。

最終回となった12月には学校全体の行事として授業を行った。講師の方には直近のホームルーム活動に関連した「いのち」をテーマとした絵本を選んでいただき、ホームルーム活動とは別角度から生徒自身の「いのち」に対する考え方を深めるきっかけになることをねらいとした。また、講師の方の読み聞かせに加え、数名に生徒全体の前で読み聞かせをする体験をしてもらった。読み聞かせ体験をした数名の生徒には授業前に絵本選びと読み聞かせ練習の指導を行ったが、基本的には生徒主体でそれぞれをこなすことができ、読み方にも工夫をこらそうといった意欲が見て取れたので、積極性と表現力の向上が感じられた。また、聞く側の生徒達もそれまでの授業と比べしっかりと前を向いて耳を傾けていたため、こちらに関しても積極性の向上が感じられた。

以下に生徒の感想を一部紹介する。

##### 〔生徒感想〕

○毎回楽しく観させていただいています。子供の頃に戻ったような、懐かしい時間に浸れるので、貴重な時間だと思っています。大勢の人の前で、すらすらと聞き易い声で読み進めていけることが、個人的にはなかなか真似することの出来ないすごいことだと思います。同時に、安心感を与える読みかたなので、心地よい時間を提供してくれていることを実感します。

○『100万回生きたねこ』や、『葉っぱのフレディ』タイトルだけは知っていたけど、内容は知らなかったの、聞いて良かったです。私はしかけ絵本が好きなので、

今日のしかけ絵本は感動しました。しかけ絵本を作れるようになりたいなと思いました。

○1年間読み聞かせを聞いて楽しかったです。あまり絵本とか読まない自分でも少し興味をもつことができました。

○自分に子供ができた時に本を読んであげるための良い経験になったと思います。

○いつも家で絵本を読んだりしないので、読み聞かせで、初めて見るものばかりで楽しかったです。保育士をめざしているので子どもたちに楽しんでもらえるよう、私も読み聞かせを上手にできるようになりたいです。ありがとうございました。

○読み聞かせを通じて、子どものような純粋な心を少し思い出せた気がします。自分の格好など気にせず、心の底から物語を楽しめました。懐かしいような新鮮なような、温かい時間をありがとうございました。

## 5 今後の課題

本年度も当授業を行い、4で述べたような成果を得られたことで、生徒の成長を実感できた。今後も継続して取り組んでいきたい。

一方で、授業中に生徒が少々退屈を感じている様子も見られた。各生徒の進路等によって興味関心の度合いが大きく異なるためだと思われる。そのため、12月の最終回で行ったような、ホームルーム活動に関連する内容の絵本を使用し、絵本という親しみやすい媒体によって、ホームルーム活動等で学んだことを実感として持ってもらえるような授業としたい。そのため、普段の学校での活動をしっかり把握し、その時々の実情に合った絵本を選べるよう、講師の方との連絡・相談を密にしたい。また、積極性を養うため、生徒自身が絵本を選び、全体の前で読む機会を増やすなど、生徒が主体的に授業に参加できるような方法も検討したい。

## ③ 鳴門高等学校定時制課程

### ○ヨガ体験講習について

#### 1 目的・ねらい

深い呼吸法や正しい姿勢を学ぶことで、精神の安定を図り、よりよい社会生活への態度を育成するための講習会を8回開催する。

#### 2 内容

ヨガインストラクターの方を招き、心身の健康を理解し実践することを目指し、ヨガ体験を実施する。正しい呼吸法や姿勢、様々なポーズにも挑戦し、心と体のつながりを

実感し、心身の緊張をほぐし、心の安定や安らぎを得る。

### 3 取り組み

ヨガインストラクターの方の指導の下、腹式呼吸や姿勢づくりを通して心身の健康に寄与する。自分の体を思うように動かすことと、そのズレ（客観的に見るとそうならないこと）に気づき、補正していくことでバランスのとれた心と体のつながりを実感し、心身の緊張をほぐし、心の安定や安らぎを得る。総合的な学習の時間の中で、定期的に講師を招き、プロの指導や助言をしてもらう。プロの「技」を実際に見て、学び、実践させ、よりよい社会生活への態度を育成する。

### 4 成果

ヨガインストラクターの方を招き、ヨガ体験を実施した。正しい呼吸法や姿勢、様々なポーズにも挑戦し、悪戦苦闘しながらもインストラクターの方の的確なアドバイスや声かけにより、楽しい雰囲気を進めることができた。体を動かす楽しさはもちろん、回数を重ねることにより、心と体のつながりを実感し、心身の緊張をほぐし、心の安定や安らぎを得る方法も身につけることができた。ヨガ体験を通して、内面の美しさを磨くことの重要性も教わった。

### 5 今後の課題

ヨガを指導する際は、非常に専門的な知識や技術が必要であり、インストラクター不在時の授業展開や指導に難しさを感じた。担当教員の知識や技術向上のための機会が別に必要であると考えた。

平成29年度 総合的な学習の時間 外部講師 来校表

ヨガ体験講習…講師 yoga feel 吉田 有美 さん

平成29年

5月11日（木）（オリエンテーション）

6月 8日（木）（立位ポーズ①）

6月22日（木）（立位ポーズ②）

7月 6日（木）（座位のポーズ）

9月21日（木）（バランスのポーズ）

10月 5日（木）（太陽礼拝、後屈のポーズ）

11月30日（木）（ライイング、逆転のポーズ）

平成30年

1月18日（木）（チャレンジポーズ）



#### ④ 名西高等学校定時制課程

##### ○ソーシャルスキルに関する講演会の実施，職員の研修会への参加

###### 1 目的・ねらい

本校の生徒の中には何らかの理由で不登校を経験した者が少なくない。全体的に真面目で大人しいものの，社会性に欠け，自分とは違う価値観に対して消極的反応を示すこともよくある。講演会を通して他人との関係づくりのヒントを得る。職員は学習支援を要する生徒に対する接し方や指導の仕方を研修を通して身につける。

###### 2 内容・取り組み

###### 1) ソーシャルスキルに関する講演会

日時 平成29年7月19日(水)

講師 鳴門教育大学教職大学院 阿形恒秀教授

「人とつながることの大切さ」をテーマにソーシャルスキル向上のための講演をしていただいた。将来，大人として，また社会人として他人と良い関係を構築した

り、相手の気持ちを押し量ったり、自分の気持ちや要求を適切に表現できたり、自分の感情をコントロールすることの大切さをグループワークでの実践を通して理解できた。

## 2) 職員の研修会への参加

日時 平成29年12月14日(木)

研修 平成29年度第2回徳島県発達障がい教育研究会

高等学校における特別支援教育の実践報告やとくしま地域若者サポートステーションの永穂とも美所長による講演を聴き、高等学校段階の発達障がいのある生徒への支援内容や方法について理解を深めた。

日時 平成29年12月26日(火)

研修 徳島県立みなと高等学園特別支援教育研修会

オプトメトリスト富永絵理子先生による講演を聴き、学習における様々なつまづきの原因の1つに視覚機能があることを理解し、それに対する支援の具体例を教えていただいた。

## 3 成果

今回の講演や進路講演会などを通して、社会性を身につける必要性についての生徒の意識は徐々にではあるが高くなってきている。授業だけでなく学校行事への参加率も上がり、自分から挨拶ができる生徒や気配りのできる生徒も増えつつある。

## 4 今後の課題

同学年の生徒とは会話できても、他学年の生徒とうまく会話できなかつたり、自分の感情表現やコントロールが十分でない生徒も目につく。講演会や研修会から得た知識を一過性のものとせず、工夫を凝らしながら、授業や学校行事を通して本校の生徒の現状に合った指導方法を探していく必要性を感じた。

## ⑤ 徳島県立池田高等学校定時制課程

### ○地域や人と関わる活動・アクティブ・ラーニング等について

#### 1 目的・ねらい

地域との関わりの深化による人のすばらしさの実感、協働的な学びの推進による問題解決能力の育成、運動習慣の確立等を通して社会技能や豊かな心の醸成に繋げる。

#### 2 内容

交流的活動を通して、地域や人と繋がることの喜び、コミュニケーション能力、心が不安定な時の対処法、運動スキル等、逞しく生き抜く手段や考え方について学ぶ。

#### 3 取り組み

- ◇自尊感情を育てるコンサートや保育実習，地域における社会貢献活動
- ◇ストレスと上手に付き合う方法やアテンションコントロール等を学ぶ講演会
- ◇心身の健康維持のための体力増進講座と放課後の運動時間（TEE）
- ◇問題解決能力やコミュニケーション能力を育てるためのアクティブ・ラーニング



ワークショップ



TEE の時間



保育実習「ダンス」



へそっこタウン

#### 4 成果

コンサート，保育実習，地域の社会貢献活動等，地域や人と関わる活動を年間5回以上実施し，社会的スキルの向上や豊かな心の醸成を図る機会を提供できた。心理に関する講演会，ホワイトボードやICTを活用したワークショップも実施できた。地域社会と連携した様々な取組に対する生徒の積極的態度的上昇が捉えられた。

#### ※学校評価アンケート結果

質 問	肯定的評価%→	H29	H28	H27	H26	H25
【生徒】学校行事に積極的に参加できましたか。	① 遠足	89	83	88	92	70
	② 学燈祭	79	78	83	88	74
	③ 校内球技大会	95	78	92	88	78
④ 定通連美術作品展作品制作		84	67	88	92	78
⑤ 「池定・地域まもり隊」の防犯パトロールや地域での清掃活動		84	61	79	85	74
⑥ 「地域を知る学習」		79	78	75	81	59
⑦ 「被災地支援活動」(マーブリングうちわの作成)		74	67	83	88	78
【保護者】学校は，地域とともに歩む学校づくりを進めている。		100	94	91	96	100

#### 5 今後の課題

卒業後，人間関係のトラブルや集団の雰囲気になじめない等，進路先で何らかのつまづきを感じる者も少なくない。今後も様々な体験活動をもとに，社会を生き抜く自立した逞しい人材の育成が重要である。授業においても，ホワイトボードやICTを効果的に活用したアクティブ・ラーニングを積極的に提案・推進したい。

## 5) 学力向上支援

### ① 徳島中央高等学校定時制課程夜間部

#### ○多くの人の関わりにより学習機会を増やす夜間部の学力向上支援

##### 1 目的・ねらい

夜間部の学力向上支援のねらいは、大きく二つに分けることができる。一つは基礎学力の向上を目指すことである。高等学校の学習内容の理解に必要な学力の定着を図るとともに、一般常識や人間関係を築く力等の社会生活をしていくために必要な力を養い、自ら学ぶ態度を育てることを目標とする。

二つ目は義務教育段階の学習内容の再学習を行うことである。様々な原因により小・中学校での学習内容を身に付けることができていない生徒に対し、高等学校の学習内容の理解に必要な基礎学力の学習と並行して行う。

##### 2 内容

義務教育段階の国・数を中心にして学び直しを行う学校設定教科「マルチ基礎」、社会人・職業人としての基礎を学ぶ学校設定教科「職業」及び放課後や長期休暇中の課外時間における自主学習時間「ハッピータイム」において、一人一人の生徒の実態に応じた支援を継続して行っている。特に「マルチ基礎」及び「職業」の授業では夜間部の教員に加えて鳴門教育大学大学院生（臨床心理士養成コース）や支援相談員が、一人一人の生徒に寄り添う形での学習支援を行っている。

##### 3 取組

学校設定教科「マルチ基礎」は、週1時間（1単位）の科目として1～3年次の生徒を対象にホームルーム主体の授業となっている。各ホームルーム10名前後の生徒に対し、4～5名の指導者が教室に入り学習指導を行っている。各ホームルームとも多様な生徒がいるため、マンツーマンで学習指導をしなければならない場合もあれば、1名の指導者が2～3名の指導を行う場合もある。学習指導で注意していることは、できないことの再確認にならないよう、自分で「できること」の実感と「教えてもらってできるようになること」の達成感を各生徒に経験してもらうことを目指している。さらに、小・中学校での学習時に理解できなかったことに対しては、異なるアプローチにより理解を目指すよう工夫している。

学校設定教科「職業」は、1年次に「職業基礎A」（1単位）、2年次に「職業基礎B」（1単位）を学習している。2年間の学習により社会人・職業人としての基礎を身に付けられるよう指導している。上の「マルチ基礎」と同様に各ホームルームとも3名以上の指導者が関わるようにしている。「職業基礎A」及び「職業基礎B」の学習生徒全員が「夜間部カフェ」の日替わり当番を行っており、ここでは多くの教員や生徒とコミュニケーションを図ることで社会生活を営む力を培っている。



自主学習時間「ハッピータイム」は全員の生徒に呼びかけ、自らの目標に向かい、自ら学ぶ態度を育むことを目指している。「ハッピータイム」での学ぶ内容や方法は多様であり、生徒の実態に合わせて適切に教員が対応するようにしている。

#### 4 成果

「マルチ基礎」や「職業」の授業での学習支援を行うのは、担任・副担任だけでなく、比較的年齢の近い大学院生がいるため明るい雰囲気の中で授業を進めることができる。マンツーマンに近い形で指導できるので、わからないものをわからないと言え、生徒は学び直しをスムーズにかつ効果的に行うことができている。また、教員、支援相談員及び大学院生とのコミュニケーションにより、基礎学力の向上だけでなく、社会人として必要な力を養うきっかけとなっている。

さらに、国語・数学の授業との連携により、生徒の学習意欲の向上及び基礎学力の向上が実感できる。

#### 5 今後の課題

夜間部の学力向上支援の課題の一つは、夜間部における学力とは何かをさらに分かりやすく明確にし、すべての指導者で共有することである。また、生徒の学力向上を目的として設定している学校設定教科とその他の教科とのさらなる連携により、夜間部の生徒にぜひ身に付けてほしい学習内容を確実に定着させるようにしたいと考えている。

## ② 徳島中央高等学校通信制課程

### ○多様な学習形態の提供による学習支援

#### 1 在籍生徒の実態について

徳島中央高等学校通信制課程には、中学校卒業後すぐ入学してくる者、中学校卒業から数年経過して入学してくる者、他の高等学校から転編入学してくる者と本校入学までに様々な経歴を持つ生徒が在籍している。また、高校卒業の資格を取得するため、生涯学習を志すため、他校に在籍する生徒が3年での卒業に向け、不足単位を定通併修により本校で取得するためと、在籍生徒の入学目的は多種多様である。さらに、過去、いじめ、不登校、問題行動を経験した者、発達障がいなどにより特別な支援を必要とする者、そして、全日制課程や定時制課程の高校では学ぶことが困難であるという理由で新・転編入学してくる者が多数在籍しているため、多様な生徒が学べる教育環境の整備が必要となっている。特に、近年、発達障がいのある生徒や不登校を経験した生徒等、何らかの支援が必要な生徒が多く在籍するようになってきている。平成29年度の活動生へのアンケートによると、在籍生徒の約40%が不登校を経験しており、小学校高学年から中学校までほとんど学校に登校できていない生徒も見られる。

一方、本校に入学した生徒の卒業率は、ここ数年、新卒、既卒を含む中学校からの新入生が35%前後、他の高校からの転編入生が50%～70%である。転編入学生の卒業率が高い理由は、高卒資格取得や卒業後の進路に対する意欲が高いためであると考えられる。また、今年度、在籍生徒の約35%が5年以上本校に在籍している。仕事との両立で学習時間が確保できない、不登校傾向があり学校に足が向かない等、理由は様々であるが、これらの生徒は卒業に向け、自分のペースで学業に励んでいる。

## 2 内容

本校通信制課程では、生徒の多様な学びのニーズに対応するため、他の事業も含め、つぎのような学習形態を提供し、実践を行っている。

- ① 義務教育内容を学び直す学校設定科目（ベーシック国語・数学・英語）の開設
- ② 学生ボランティア（徳島大学生）による個別指導
- ③ NHK高校講座の活用促進（レポートに放送内容の取り入れ、面接指導の代替）
- ④ 学習支援制度による個別指導
- ⑤ 従来からの県南部、県西部に、今年度から県北部を加え、3地区での出張スクーリング
- ⑥ 今年度から2学期制を導入し、前期または後期で履修を完了する科目を設置

## 3 取組

### ① ベーシック科目について

平成26年度より英数国の3教科において、中学校時代の学び直しのための学校設定科目を開設した。義務教育段階の内容が学習でき、年12回の面接指導と年6回のレポート提出により履修修得条件を満たせば2単位が修得できる。

### ② 学生ボランティアによる個別指導について

特別な支援を必要とする生徒への学習支援として、希望する生徒に対して、学生ボランティアによる学習支援を行った。

### ③ NHK高校講座の活用促進について

レポート課題の一部にNHK高校講座の放送内容と関連したものを取り入れたり、面接指導時において、NHK高校講座の紹介をしたりすることにより放送視聴の促進を図った。

### ④ 学習支援制度について

生徒への案内物、クラスや科目担任による広報を、年度当初より積極的に行い、活用を促した。申込用紙を職員室前や各教室に置き、利用しやすくした。

### ⑤ 出張スクーリングについて

県南部、県西部、県北部の遠隔地に居住する生徒で、特に、近隣地での面接指導を希望する場合において、希望のある科目について出張して特別に支援を行った。

⑥ 2学期制半期単位認定について

1年間通して学習活動が困難な生徒のために半期（前期または後期）で単位を認める科目を設置した。

4 成果

① ベーシック科目について

ベーシック科目は、義務教育での学習内容を確認かつ復習することと高等学校で本格的に学習するための準備と練習を行うことを目的として開設した科目である。履修生徒は、基礎基本を確認するとともに自らの実態を知ることができ、学習を進めていくことができた。分かる喜びは生徒自身の学習意欲向上と自己肯定感につながり、開設効果は非常に大きかったと思われる。

② 学生ボランティアによる個別指導について

大学生によるピアカウンセリング的なコミュニケーションと細やかな学習指導を行った。少しずつではあるが、生徒自身の対人関係等のソーシャルスキルを高めることと苦手科目克服ができ、未来に対するビジョン構築の一助となった。

③ NHK高校講座の活用促進について

レポート添付のアンケート及び視聴報告利用生徒数から算出した視聴人数の割合は14.6%であった。昨年度に比べて、3%の減少となったが、科目によっては50%近い視聴率のものもあり、この制度は生徒に浸透かつ定着してきたものと思われる。

④ 学習支援制度について

学習支援制度を活用した生徒は延べ255名であった。当初150名以上の活用を目標にしていたが、今年度の目標を大きく上回るとともに、昨年度より約90名の大幅な増加となった。また、前期と後期を比較してみると、後期の活用者が多い。この制度が、レポート作成や生徒自身の学力向上に有効であるという認識が、活用した生徒に芽生えてきた結果であり、生徒の学習意欲喚起に効果をあげる取り組みであったと思われる。

⑤ 出張スクーリングについて

本校は県下唯一の公立通信制課程の高等学校であり、規定された面接指導を受けるために片道50Km以上の距離を通学する生徒もいる。今年度は、昨年までの県南部、県西部に加え、新たに県北部で面接指導を行った。遠隔地から通学してくる生徒たちに対して、遠距離通学の負担を少しでも軽減することができた。また、出張スクーリングでは、個別指導に重点をおいた面接指導を行っており、より効果的な個別指導もできた。本校以外の場所にこのような面接指導の場を設けることは、不登校傾向の生徒にとって、面接指導出席のきっかけとなり、本校における面接指導出席（登校）につながるといった効果もあった。

⑥ 2学期制半期単位認定について

半期での学習活動を成果として認めることにより、卒業に対するモチベーションが維持でき、意欲的に学習に取り組む姿勢が身に付いたと思われる。また、

今年度から前期末での卒業制度を導入し、2名が前期末（9月末）で卒業した。

## 5 今後の課題

### ① ベーシック科目について

この科目は、主として新入学生徒を対象に設定された選択科目であり、現在は本人の希望により履修させている。入学にあたり、各教科の学力審査を実施していない本校では、生徒の学力面の実態が把握しきれず、本来、履修が望ましいと思われる生徒が履修せずにいる状況が生じており、このような生徒の履修率向上が今後の課題である。

### ② 学生ボランティアによる個別指導について

この制度は、引っ込み思案なために質問ができない生徒や不登校などのために勉強の仕方がわからなかったり、学習習慣が身に付いていない生徒にとっては、有効な支援方法であると思われる。また、コミュニケーション面で自信がない生徒にとっては、学習支援以外の面で、ソーシャルスキル等を向上させるきっかけにもつながる。ぜひ、来年度以降も継続していきたいと考えるが、後期からの実施となるため、科目によっては利用できないことがあり、前期にも同様の支援ができるような方策を検討することが今後の課題である。

### ③ NHK高校講座の活用促進について

レポート課題の中にNHK高校講座の放送内容と関連したものを取り入れることが困難であったり、講座放送日時と課題作成時期がズレたりする科目がある。しかし、Eテレ等で興味深い番組も数多く放送されており、レポートや面接指導をきっかけに、こうした放送を観たという生徒も少なからず存在し、多様な学習機会の提供には有効な取り組みであると思われる。ぜひ、来年度以降も継続していきたいと考えるが、そのためにも講座内容（の一部でも）を面接指導の中で紹介する等、活用促進の方法を検討していきたい。

### ④ 学習支援制度について

活用した生徒は確実にレポート作成に成果が現れ、学習意欲向上につながっている。しかし、まだ活用したことがない生徒も数多く存在し、このような生徒に対して、活用を働きかけ、利用者数を増やすことが、今後の課題であると思われる。あらゆる機会を通して、活用を促す働きかけをしていきたい。

### ⑤ 出張スクーリングについて

県下各地の遠隔地より通学する生徒は減少傾向にあり、このような事情で本制度を活用する生徒は減ってきた。しかし、不登校生徒が活用する事例は今後ますます増加することが予想される。実施場所や実施方法等を工夫し、利用生徒にとって、学習効果があがるような方策を検討していきたい。

### ⑥ 2学期制半期単位認定について

半期で無理なく目標が達成できるよう、半期単位認定科目を今年度新たに設定し、前期末で2名が卒業することができた。今後は、生徒の履修状況を検証し、さらに改善していきたい。

### ③ 富岡東高等学校定時制課程

#### ○図書購入について

##### 1 目的・ねらい

本校の生徒には、学ぶことや働くことへの意欲，また自己有用感や自己肯定感を持っていない者が多く在籍する。その対策として，何らかの資格取得をさせることで，自信を持たせ，それぞれの進学や就職に生かしてほしいと考え，図書購入を計画した。

##### 2 内容

進学や就職の際の評価につながる実用英語技能検定等に向けた学習のため，参考となる図書を購入した。

##### 3 取組

ビジネス文書や簿記，数学検定等の資格取得を目指すよう生徒に呼びかけ，応じた生徒には購入した図書の問題に取り組みさせた。授業が始まる前の時間や放課後の時間を活用して，基礎学力の定着と復習も兼ねて合格に向け指導を行った。

##### 4 成果

実用英語技能検定3級に1名，ビジネス文書実務検定3級に2名が合格した。当該生徒たちは懸命に努力を重ねており，順当な結果とも言える。学習を通じて知識や技術が上達し，次回はさらに上のレベルにチャレンジしたいと考えており，ますますの飛躍が期待される。

##### 5 今後の課題

チャレンジをする生徒が少数で限られているので，機会がある度に多くの生徒に呼びかけ，検定取得の意義を説明し，受検者をさらに増やしていきたい。また自宅学習も取り入れつつ，限られた時間で最大の効果が出るよう，指導方法をさらに改善していく必要がある。

### ④ 徳島県立池田高等学校定時制課程

#### ○学力向上講座・ICTを活用した授業等について

##### 1 目的・ねらい

学力向上に関する講座や講演会や職員研修会を実施し，生徒の学習改善や職員の授業力の向上，ICT活用の推進を図り，生きる力の基盤となる学力の育成に繋げる。

## 2 内容

漢字能力向上講座，計算能力向上講座，読解力向上のための読書や読み聞かせ，授業力向上校内職員研修会，ICT活用授業等を実施し，確かな学力を身に付ける。

## 3 取組

◇実社会で生活するために必要とされる基礎・基本の学習を中心とした学力向上講座

◇世の中の溢れた情報を読み解くための読解力を高める読書時間と絵本の読み聞かせ

◇電子黒板やタブレット端末等のICTを活用したわかりやすい授業

◇授業力向上のための校内職員研修会と授業参観週間・研究授業



「進化する教室イノベーション事業」



授業参観週間



授業力向上校内職員研修会

## 4 成果

学力向上講座の中で，漢字・計算テストを年4回実施できた。読書や読み聞かせの時間も確保でき，基礎学力の定着を確認できる生徒が増加した。ICT活用授業には生徒の多くが好意的で，授業に取り組む姿勢も向上した。職員の活用率も約7割と研修や研究授業等の成果も現れた。

※学校評価アンケート結果

質 問	肯定的評価%→	H29	H28	H27	H26	H25
【生徒】授業はよくわかりますか。		74	83	63	69	-
【生徒】授業を真剣に受けていますか。		79	56	67	77	81
【生徒】授業に満足していますか。		74	89	71	92	78
【生徒】学校は生徒の学力向上に向けて積極的に取り組んでいますか。		89	78	79	100	81
【生徒】校内計算テスト・漢字テストには熱心に取り組めましたか。		58	56	58	73	48
【生徒】「読書の時間」に満足していますか。		84	83	71	88	78
【生徒】定時制読書室の本棚にある本には満足していますか。		79	78	67	62	30
【生徒】全日制図書館（1号館5階）の利用について満足していますか。		84	71	67	81	48

## 5 今後の課題

学力の基礎・基本の定着は，社会生活に必要不可欠であり，今後も司書教諭と連携した読書活動の推進や，個々の能力や目標に応じた学習課題の設定等，きめ細やかな指導が重要である。社会で求められる学力の育成に関しても，協働的・体験的な学習，探求的な学習，言語活動の充実等を意識したさらなる授業改善が必要である。

### **【3】 検討会議の概要**

第1回 日時：平成29年6月28日（水）午後3時～4時50分

場所：徳島中央高等学校〔大会議室〕

#### 1 各校の今年度の体制・取組計画について

〔研究拠点校：徳島中央高等学校〕

##### (1) 実施内容

###### ①特別な支援を必要とする生徒に対する支援

・発達障がい等何らかの支援が必要な生徒に対する指導方法を学ぶため、特別支援学校の「巡回指導員」を交えたケース会議を開催する。（5回）

###### ②ソーシャルスキル向上支援

・昼間部「総合学習コース別」の「とくしま中央一座」において、人形劇団のレベルアップを図るため外部講師を招き、ソーシャルスキルプログラムを実施する。（5回）

・「とくしま中央一座」において、「松茂人形劇フェスティバル」「とらまる人形劇場」などのイベントに参加して外部上演を実施する。（3回）

・「絵本の読み聞かせ」授業を昼間部では2年次の「国語総合」、夜間部では1年次の「国語総合」において実施する。（40回）

###### ③学力向上支援

・大学院生による「放課後支援」を受け、基礎学力の向上を図る。（15回）

###### ④就労支援

・夜間部の学校設定科目「職業基礎A」において、外部講師による電話対応教育、身だしなみ講座などの生活スキルおよびビジネスマナーの授業を実施する。（7回）

・生徒の職業観や勤労観を養う学校設定科目「職業」を系統立てて指導できるテキストを作成する

・新規企業開拓のために企業訪問を実施する。

##### (2) 実施の背景

本校は、中学校時に不登校を経験したり、発達障がい等があるなどの何らかの支援を必要とする生徒も在籍している。そのため、支援体制を構築し生徒個々の状況に即した支援を行い、生徒の社会的自立に向けた取り組みが必要である。

〔研究協力校：徳島科学技術高等学校〕

##### (1) 実施内容

###### ①特別な支援を必要とする生徒に対する支援

本校の様々な問題を抱える特別な支援を必要とする生徒に対して、授業場面での対応の仕方、生活面への支援方法、保護者との連携等、具体的な支援のあり方をより深く学ぶために、職員研修を実施する。

###### ②ソーシャルスキル向上支援

### ③学力向上支援

### ④就労支援

勉学に目的意識を持たせるための一助として資格試験の受検を促し、日々勉強を積み重ね合格するという成功体験を得ることで、前向きな生活を送る生徒の育成を図る。また、資格は企業からの評価にもつながるので就職などにも有利に働く。そのための資格補習の実施に必要な最新の参考図書を購入する。

## (2) 実施の背景

本校には、多様な生徒が入学しており、また、特別な支援を必要とする生徒も少なからず入学している。そこで、教職員は個々の実態に応じた指導が求められる。そして、本校生のほとんどが就職希望であるため、就職に有利に働く資格取得に向けた取り組みが必要である。

## [研究協力校：富岡東高等学校]

### (1) 実施内容

#### ①特別な支援を必要とする生徒に対する支援

・特別な支援を必要とする生徒に係る参考図書を購入し、対象生徒に対する対応等、教職員研修等に活用する。

#### ②ソーシャルスキル向上支援

#### ③学力向上支援

・進学や就職の際の評価につながる英検等に向けた学習のため、参考となる図書を購入する。

#### ④就労支援

### (2) 実施の背景

本校の生徒には、特別な支援を必要とする生徒、自己有用感、自己肯定感を持ってない者が少なからず在籍する。その対策として、具体的な支援を研修したり、何らかの資格取得をさせたりすることで、自信を持たせ、それぞれの進学や就職に生かしてほしいと考え、上記の図書購入を計画した。

## [研究協力校：鳴門高等学校]

### (1) 実施内容

#### ①特別な支援を必要とする生徒に対する支援

#### ②ソーシャルスキル向上支援

深い呼吸法や正しい姿勢を学び、リラックスと集中をすることで精神の安定を図り、より学校や家庭生活への態度を育むため、講習会を8回開催する。

・総合的な学習の時間における「ヨガ体験講習」

#### ③学力向上支援

#### ④就労支援

生徒の職業観を育成するための講習会を8回開催する。

・総合的な学習の時間における

「バイク整備実技講習」

「ものづくり実技講習」



### 「美容体験講習」

#### (2) 実施の背景

原動機付き自転車を始め、自動車まで様々な通学手段が認められている本校定時制課程では、教員が通学時におけるマナーを教え、車両点検の際に安全点検を実施し、指導している。しかし、点検後の整備や必要な部品交換などの面で不安が残っていた。そこで、「バイク整備実技講習」において、実際に生徒自ら整備や部品交換、点検する機会を得ることで、安全に乗車するためのノウハウを身に付けると同時に、工業製品に対する親しみと「技」の習得を主要な目的とした。「ものづくり実技講習」においては、生徒の卒業後の進路にも直結している工場等での作業に支障を来さないよう、ある程度の手先の訓練や道具の使い方等の基礎知識を学ぶ機会を得る。また、近年、ファッションや美容への興味関心が高い女子生徒が増えてきたこともあり「美容体験講習」において、ネイルケアやネイルアートを始めとした美容体験をする機会を得、進路選択の幅を広げる。さらに、「ヨガ体験講習」において、深い呼吸法や正しい姿勢を学ぶことで、精神の安定を図り、よりよい社会生活への態度を育成する。各講習とも、総合的な学習の時間の中で専門の講師を招き、的確な指導を仰ぐこととした。

#### [研究協力校：名西高等学校]

##### (1) 実施内容

①特別な支援を必要とする生徒に対する支援

②ソーシャルスキル向上支援

・鳴門教育大学の教授による講義・演習を実施し、生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。

・職員が研修に参加して、指導方法を学ぶ。

③学力向上支援

④就労支援

・地元企業の経営者による講演を実施し、生徒の就労意欲を向上させる。

##### (2) 実施の背景

本校の生徒の多くは、真面目ではあるが、コミュニケーション能力が身につけておらず、就労に対しても積極性に欠けている。そのため、コミュニケーション能力の向上と就労につながる取り組みを強化し、就労率を高めることが必要である。

#### [研究協力校：池田高等学校]

##### (1) 実施内容

①特別な支援を必要とする生徒に対する支援

・教職員の教育的スキルや資質の向上を図り、生徒に対して理解を深めるために、特別支援に関する書籍を購入する。

・生徒の特性に応じたきめ細やかな支援の充実に繋げるために、専門家を講師として招聘し、教職員研修を実施する。

②ソーシャルスキル向上支援

- ・協働的・体験的な教育活動を通して，問題解決能力やコミュニケーション能力等の育成を図るために，アクティブラーニングに関する書籍を購入する。
- ・生徒が対人関係や集団行動を上手に営んでいくための支援の充実に繋げるために専門家を講師として招聘し，教職員研修を実施する。
- ・豊かな運動習慣を確立し，ストレスや情動に対処して心身の健康を維持するための健康・運動講座を実施する。

### ③学力向上支援

- ・基礎学力の定着や学習改善を図るために，学力向上に関する書籍を購入する。
- ・基礎的・基本的な学力や学ぶ意欲，問題解決力等，社会で生き抜く力の基盤の構築を図るために，専門家を講師として招聘し，教職員研修を実施する。

### ④就労支援

- ・社会人や職業人としての心構えやマナーの育成を図るために専門家を講師として招聘し，生徒対象のキャリアガイダンス，ビジネスマナー講座を実施する。
- ・生徒の進路選択やスキルアップ等への意欲を高め，社会人や職業人としての自覚や自立心等の育成を図るために，就労支援に関する書籍を購入する。
- ・生徒の勤労観・職業観を育成するため，企業見学，就業体験等を実施する。

## (2) 実施の背景

本校の生徒は，学校生活と仕事の両立を図る生徒がいる一方で，日常的な基本的生活習慣が十分身につけていない生徒や特別な支援が必要な生徒，基礎学力が十分でない生徒，自己中心的で規範意識や倫理観，協調性等が希薄な生徒，自尊心が低く消極的で自己の意思を決定する判断力や伝達力・実行力が不十分な生徒等，多様な生徒が在籍しており，社会性や勤労意欲に乏しく，進路の決定に時間を要し，就労しても長続きしない生徒が少なくない。そのため，多様な支援を効果的に実施し，生徒一人一人の個性に対するきめ細やかな指導・支援を行い，生徒たちの自己実現や進路実現にむけ，教育活動全体を通じた取組が必要である。

## (3) その他

授業やホームルーム活動の形態においては，アクティブラーニングやICT活用等の協働的・体験的な学び合いによる学習を主体とし，対人関係能力や問題解決能力等の育成のために，ホワイトボードを活用したグループワークを実施する。さらに知識と技能の相互作用的な活用能力の育成のために，個人用のホワイトボードも活用し，KJ法等で考えをまとめて効率よく思考させる。

## 2 質疑応答・指導助言

A委員 科学技術高校のように就労につながるような検定試験は，どんどん取って行った方がよい。

ソーシャルスキルの向上支援については，実際のところは就労支援に直結すると思う。さらに詳細に調べて頂いて，研究を進めてもらえたらと思う。

B委員 これまでの事業で，「ユニバーサルデザイン」であるとか，「アクティ・ブラーニング」であるとか，さまざまな取組をされているが，厳しい生徒た

ちを医療機関につなぐということがベースの支援として重要である。鳴門高校のような「ものづくり」体験の取組は、何かと体験したことが乏しい今の若い高校生たちにとっても有効な取り組みであり、一度、体験したことは「やれる」という自信につながり、それで就労につながることもあると考える。多様な体験・経験を生徒たちに沢山させてあげてほしい。

保護者が本人の就職に障害になっている事例もあり、その結果、社会とつながれないというケースもある。卒業時、生徒たちの適性に合う方向性をしっかりと付けて頂いて送り出してあげてほしい。

C委員 相談でやはり多いのが、特別支援を必要とする生徒さんの中で、結構、自分を知らないという生徒さんが多くて、これまで怒られた経験が少ないとか、「長所って何ですか」と言われた時に、答えられない生徒さんが沢山いる。徳島中央高校で学習されている「自己理解」のところで、まず、「自分を知る」というのは、すごく大事なことなんだと思う。その中で、得意なこともあれば苦手なこともある。その中で資格を取る時に、「ここって好きだな」「得意だな」という部分があれば、続けて行けるし、つながって行けるということにもなると思う。

D委員 一番最初の話が、「つなぐ」ということだったと思う。先ほど出た、医療につなぐだとか就労につなぐという話もあったが、最終3年目となって、皆さんが、何につなげるのかな、具体的に「つなぐ」ものが見えてくればいいのかと思う。徳島中央高校さんのソーシャルスキルの取組も素晴らしい取組がなされているので、今年度の取組を期待したい。

## 第2回 日時：平成29年2月7日（水）午後3時30分～5時00分 場所：徳島中央高等学校〔大会議室〕

### 1 本年度の取組及び3年間の総括と今後の取組について

拠点校及び協力校より本年度の取組及び3年間の総括と今後の取組について、来年度以降も継続しようと思うこと、新規に行いたいことといった2点を中心に説明が行われた（本年度の取組については本報告書他項参照）。各校からの報告概要は次の通り。

徳科技 相談支援員が来てくれることで、生徒も教員も助かった。また、進路開拓や図書購入の予算措置は継続してほしいと思う。新規には大学院生ボランティアの学習支援、ICTを活用にした授業を充実させる環境整備をお願いしたい。

富 東 講演会や講習会など、単発のものが多かった。4年間一貫したキャリア教

育が行えたらと思う。また、各校の取組を教員が参観できたり、生徒が参加できるような交流ができたらいと思う。

鳴門 総合的な学習の時間に、外部講師を招聘して、いろいろな講座を開講した。生徒の進路選択に役立たせることができた。今後も継続して、さらに講座の種類を増やしていきたい。

名西 年間を通じて生徒の興味関心にあったような講座を開講できるような講師を招聘したい。

池田 地域の資産を活用して、生徒の自己表現や社会性を養う活動ができた。今後もこのような取組を続けたい。

中央昼 人間関係を良好に築いたり、感情のコントロール方法を学んだりする機会を、もっと多くの生徒に広げていくことが今後の課題である。

中央夜 ICTを活用できる環境整備を望む。外国人の生徒が入ってきた時の対応を、新規事業として考えてみてはどうか。支援相談員は定時制高校にとっては本当にありがたい。是非続けて欲しい。ソーシャルスキルアップを通信制の講座で開講して、放送等で広く受けられるようになることを望む。

中央通 通信制が教材を開発して、定時制の生徒が利用できるようにしていけたらいいと思う。そのための人員配置と予算措置をお願いしたい。また、学生ボランティアによる学習支援を続けたいので、その予算措置と、定時制は理科教育を充実させる制度が弱いのでその点もお願いしたい。

## 2 指導助言

A委員 一番はお金の問題だと言うことがよくわかった。取組を継続することや充実した教育を進めることにはどうしてもお金は必要になる。予算を確保する仕組み作りを行政が考えていかないといけない。

B委員 卒業後、就職した生徒の就職先への定着率を各校ともに出して考察していくといいと思う。定着率以外でも、数値で表せることは、各校共通の指標として利用できると思う。今後の検討事項として、外国人で日本語に困難がある人が入学してきたときの支援方法を確立していくこと提案する。

C委員 新しい事業を考えるなら、キャリア教育として、実際に職場に行って学ぶ事業を提案する。また、早期離職を予防するような、ストレス耐性をつけたり、相談できる人を見つける対人関係能力を養成したりといったことも必要。

D委員 「ソーシャルスキルアップ」のような対人関係を育成していく取組は、非常に時間がかかるが、小さな輪の中でちょっとずつ育んでいくもので、講座を放送にのせて広めるのは難しいと思う。また、今回各校で行ってきた様々な取組をお互いに参観し合って、自分の学校に取り入れられることは取り入れるとといったようなことをできたらいと思う。